

令和3年度

決算説明資料

秋田県仙北市

主要な施策の成果を説明する書類

1、総括

令和3年度の市財政は、歳入面では、地方税が新型コロナウイルスの影響による市民税個人分や、中小事業者等が所有する償却資産及び事業家屋に係る固定資産税の軽減措置による減、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の皆増、地方財政政策により地方交付税が増となっています。歳出面では、令和2年度で角館庁舎の建設事業等の大規模事業は終了したものの、元金償還開始に伴う公債費の増や介護保険特別会計や公営企業への繰出金が高水準で推移していることにより例年に続き財源不足が見込まれました。

国ではプライマリーバランスの黒字化目標等の達成に向け、これまでの歳出改革の取組を継続し、経済再生と財政健全化の両立を図ることとしています。

令和3年度の市財政の運営に当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大への対応や地域経済の活性化等の課題に対応し、第2次仙北市総合計画及び仙北市総合戦略の後期計画初期年度として、産業振興対策、移住・定住対策など基本目標に沿った事業を実施しました。

依然として、日本全体の経済活動停滞の影響は仙北市内にも引き続いた一年となりました。市では国の対策と連動しながら経済活動の下支えを行うとともに感染拡大防止や生活者支援に配慮し、地域経済の回復に向け機動的な財政出動を行ったところです。

本年度の事業の概要及び効果等については、後述の主要施策実績表のとおりです。

2、一般会計の決算状況

(1) 令和3年度の一般会計決算は「第1表」のとおりです。

一般会計の決算額は、歳入総額227億2,650万9千円、対前年度比37億2,324万1千円減(14.1%減)、歳出総額221億6,620万6千円、対前年度比38億5,155万7千円減(14.8%減)で、歳入歳出差引額は5億6,030万3千円の黒字となっています。

歳入歳出差引額のうち翌年度に繰り越すべき財源は6,139万2千円(繰越明許費繰越額6,139万2千円)で、実質収支額は4億9,891万1千円の黒字となっています。

(2) 歳入決算額の状況は「第2表」のとおりです。

歳入項目別決算構成比では、地方交付税が40.6%（決算額92億2,796万円）と最も高く、次いで国庫支出金の12.2%（決算額27億7,355万1千円）、市税の11.6%（決算額26億4,367万8千円）、市債の7.5%（決算額17億980万8千円）、県支出金の6.6%（決算額15億491万1千円）、繰入金の6.3%（決算額14億3,684万7千円）、寄附金の5.0%（決算額11億4,037万4千円）の順となっています。

前年度比較増減では、地方交付税の原資である国税の増収に伴う普通交付税の再算定等の増により5億84万円（5.7%）増加したほか、県支出金が中心経営体集積促進事業費補助金の皆増等により4億9,696万8千円（49.3%）増加しています。一方で、国庫支出金が定額給付金（事業費・事務費）補助金等の減により23億3,895万円（45.7%）の減、市債が新角館庁舎建設事業終了に伴う庁舎整備事業債等の減により18億1,757万6千円（51.5%）の減、寄附金がふるさと仙北応援寄付金等の減により3億2,304万3千円（22.1%）の減、繰入金が財政調整基金繰入金の皆減等により2億6,651万円（15.6%）減少し、歳入全体では37億2,324万1千円（14.1%）の減となりました。

(3) 市税の徴収実績の状況は、「第3表」のとおりです。

市税の徴収率は現年課税分99.2%、滞納繰越分34.9%、合計95.4%となっており、前年度徴収率の92.8%を2.6ポイント上回っています。

(4) 歳出決算額の目的別状況は、「第4表」のとおりです。

目的別の歳出項目別決算構成比では、民生費の25.2%（決算額55億8,731万2千円）、総務費の19.6%（決算額43億4,617万6千円）、衛生費の13.3%（決算額29億4,681万7千円）、土木費の10.2%（決算額22億5,704万6千円）、の順となっています。

前年度比較増減では、民生費が住民税非課税世帯等や子育て世帯への臨時特別給付金事業費等により5億9,182万円（11.8%）の増、農林水産業費がメガ団地等大規模園芸拠点育成事業費補助金の皆増等により3億9,556万8千円（42.1%）の増、労働費が仙北市雇用促進助成事業費補助金等の増により327万円（5.1%）の増となっています。

一方、総務費が特別定額給付金給付（事業・事務）費の皆減等により44億6,592万1千円（50.7%）の減、消防費が消防車両購入費等の減に伴う大曲仙北広域市町村圏組合消防費負担金等の減により2億2,487万5千円（21.3%）の減などとなっています。

(5) 歳出決算額の性質別状況は、「第5表」のとおりです。

性質別の歳出項目別決算構成比では、補助費等の22.5%（決算額49億9,463万7千円）、人件費の16.7%（決算額36億9,343万4千円）、扶助費の12.8%（決算額28億4,416万9千円）、物件費の10.1%（決算額22億4,649万3千円）、公債費の9.4%（決算額20億8,507万1千円）の順となっています。

対前年度比較増減では、扶助費が住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費等の増により5億9,747万5千円（26.6%）の増、人件費が近年の退職者数増による積立不足額の発生等に伴う退職手当組合負担金等の増により2億5,616万8千円（7.5%）の増、維持補修費が冬期交通対策費等の増による5,652万2千円（9.1%）の増となりました。

一方、普通建設事業費が新角館庁舎建設事業及び田沢湖庁舎耐震化事業の終了に伴う両事業の皆減等により14億7,861万9千円（43.2%）の減、補助費等が特別定額給付金給付事業費の皆減等により29億4,272万6千円（37.1%）の減、物件費がプレミアム宿泊支援事業費等の減により2億6,916万2千円（10.7%）の減となっています。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、分母の歳入額が原資である国税の増収に伴う普通交付税の再算定等の増により普通交付税の増、固定資産税の課税標準特例による減収額に相当する新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の皆増等による地方特例交付金等の増。分子の歳出額では近年の退職者数増により積立不足額の発生等に伴う退職手当組合負担金の増等による人件費の増、一部事務組合に対する補助費等の減となり、前年度の95.8%を2.6ポイント下回る93.2%となっています。

(6) 市債の目的別現在高の状況は、「第6表」のとおりです。

令和2年度末の市債の現在高は235億3,722万円で、令和3年度中の市債借入額は17億980万8千円、同年度中の元金償還額は20億2,460万2千円、差引令和3年度末現在高は232億2,242万6千円となり、年度末現在高は前年度に比べ3億1,479万4千円減少しています。

3、特別会計決算の状況

(1) 令和3年度の特別会計決算は「第7表」のとおりです。

- ① 集中管理特別会計の決算状況は、歳入歳出とも41億8,162万3千円（前年度比7.2%増）となっています。
- ② 国民健康保険特別会計の事業勘定の決算状況は、歳入総額31億3,208万2千円（前年度比3.3%減）に対し、歳出総額は29億4,437万8千円（前年度比2.6%増）で、歳入歳出差引額は1億8,770万4千円の黒字となっています。
国民健康保険税の収入状況は、「第3表」のとおりで、徴収率は現年課税分96.5%、滞納繰越分30.7%、合計で86.7%となっており、前年度徴収率の84.3%を2.4ポイント上回っています。
- ③ 神代診療施設勘定の決算状況は、歳入総額9,171万2千円（前年度比11.4%増）に対し、歳出総額は9,168万1千円（前年度比11.4%増）で、歳入歳出差引額は3万1千円の黒字となっています。
- ④ 後期高齢者医療特別会計の決算状況は、歳入総額3億3,726万2千円（前年度比1.1%減）に対し、歳出総額は3億3,716万円（前年度比0.8%減）で、歳入歳出差引額は10万2千円の黒字となっています。
- ⑤ 介護保険特別会計の決算状況は、歳入総額4億5,560万7千円（前年度比4.0%増）に対し、歳出総額は4億5,552万7千円（前年度比4.0%増）で、歳入歳出差引額は8万円の黒字となっています。
- ⑥ 生保内財産区特別会計の決算の状況は、歳入総額1億1,737万5千円（前年度比4.8%減）に対し、歳出総額は1億671万6千円（前年度比10.1%増）で、歳入歳出差引額は1,065万9千円の黒字となっています。
- ⑦ 田沢財産区特別会計の決算の状況は、歳入総額6,172万2千円（前年度比2.7%減）に対し、歳出総額は5,258万9千円（前年度比16.2%増）で、歳入歳出差引額は、913万3千円の黒字となっています。
- ⑧ 雲沢財産区特別会計の決算の状況は、歳入総額1,052万円（前年度比14.4%減）に対し、歳出総額は880万9千円（前年度比23.5%減）で、歳入歳出差引額は171万1千円の黒字となっています。

第1表 一般会計決算収支の状況

(単位：千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額
				継続費繰越額	繰越明許費繰越額	事故繰越額	計	
令和3年度	22,726,509	22,166,206	560,303	0	61,392	0	61,392	498,911
令和2年度	26,449,750	26,017,763	431,987	0	23,125	0	23,125	408,862
増減額	△ 3,723,241	△ 3,851,557	128,316	0	38,267	0	38,267	90,049

第2表 一般会計歳入決算額の状況

(単位：千円・%)

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和3年度	令和2年度	増 減 額	令和3年度	令和2年度	
市 税	2,643,678	2,680,327	△ 36,649	11.6	10.1	△ 1.4
地 方 譲 与 税	275,673	272,304	3,369	1.2	1.0	1.2
利 子 割 交 付 金	1,250	1,636	△ 386	0.0	0.0	△ 23.6
配 当 割 交 付 金	6,132	3,940	2,192	0.0	0.0	55.6
株式等譲渡所得割交付金	8,460	5,337	3,123	0.0	0.0	58.5
法 人 事 業 税 交 付 金	23,696	8,281	15,415	0.1	0.0	186.1
地 方 消 費 税 交 付 金	645,003	601,512	43,491	2.9	2.3	7.2
自動車取得税交付金	0	0	0	0.0	0.0	皆減
環 境 性 能 割 交 付 金	11,422	11,840	△ 418	0.1	0.1	△ 3.5
地 方 特 例 交 付 金	82,222	18,757	63,465	0.4	0.1	338.4
地 方 交 付 税	9,227,960	8,727,120	500,840	40.6	33.0	5.7
交通安全対策特別交付金	2,777	2,940	△ 163	0.0	0.0	△ 5.5
分 担 金 及 び 負 担 金	30,419	29,386	1,033	0.1	0.1	3.5
使用料及び手数料	238,273	225,410	12,863	1.1	0.9	5.7
国 庫 支 出 金	2,773,551	5,112,501	△ 2,338,950	12.2	19.3	△ 45.7
県 支 出 金	1,504,911	1,007,943	496,968	6.6	3.8	49.3
財 産 収 入	23,852	32,956	△ 9,104	0.1	0.1	△ 27.6
寄 附 金	1,140,374	1,463,417	△ 323,043	5.0	5.5	△ 22.1
繰 入 金	1,436,847	1,703,357	△ 266,510	6.3	6.5	△ 15.6
繰 越 金	227,556	267,112	△ 39,556	1.0	1.0	△ 14.8
諸 収 入	712,645	746,290	△ 33,645	3.2	2.8	△ 4.5
市 債	1,709,808	3,527,384	△ 1,817,576	7.5	13.4	△ 51.5
合 計	22,726,509	26,449,750	△ 3,723,241	100.0	100.0	△ 14.1

第3表 市税の徴収実績の状況

(単位：千円・%)

区分 税目別	調定済額			収入済額			徴収率			
	現年課税分 A	滞納繰越分 B	合計 A+B=C	現年課税分 D	滞納繰越分 E	合計 D+E=F	現年 課税分 D/A	滞納 繰越分 E/B	合計 F/C	前年度に おける 徴収率
(1) 市 民 税	852,258	19,632	871,890	848,193	7,496	855,689	99.5	38.2	98.1	97.5
ア 個 人	748,635	17,908	766,543	744,813	6,829	751,642	99.5	38.1	98.1	97.5
イ 法 人	103,623	1,724	105,347	103,380	667	104,047	99.8	38.7	98.8	97.6
(2) 固 定 資 産 税	1,403,804	139,605	1,543,409	1,388,763	48,084	1,436,847	98.9	34.4	93.1	89.0
ア 純固定資産税	1,234,137	139,605	1,373,742	1,219,096	48,084	1,267,180	98.8	34.4	92.2	87.8
イ 交 付 金	169,667	0	169,667	169,667	0	169,667	100.0	0.0	100.0	100.0
(3) 軽 自 動 車 税	98,104	4,018	102,122	97,375	973	98,348	99.3	24.2	96.3	95.2
(4) 市 た ば こ 税	170,737	0	170,737	170,737	0	170,737	100.0	0.0	100.0	100.0
(5) 入 湯 税	81,357	700	82,057	81,357	700	82,057	100.0	100.0	100.0	99.2
合 計	2,606,260	163,955	2,770,215	2,586,425	57,253	2,643,678	99.2	34.9	95.4	92.8
国民健康保険税	432,060	75,437	507,497	416,989	23,146	440,135	96.5	30.7	86.7	84.3

第4表 一般会計歳出決算額（目的別）の状況

（単位：千円・％）

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和3年度	令和2年度	増 減 額	令和3年度	令和2年度	
議 会 費	154,400	159,376	△ 4,976	0.7	0.6	△ 3.1
総 務 費	4,346,176	8,812,097	△ 4,465,921	19.6	33.9	△ 50.7
民 生 費	5,587,312	4,995,492	591,820	25.2	19.2	11.8
衛 生 費	2,946,817	2,741,491	205,326	13.3	10.5	7.5
労 働 費	67,807	64,537	3,270	0.3	0.2	5.1
農 林 水 産 業 費	1,334,676	939,108	395,568	6.0	3.6	42.1
商 工 費	1,043,299	1,211,050	△ 167,751	4.7	4.7	△ 13.9
土 木 費	2,257,046	2,323,550	△ 66,504	10.2	8.9	△ 2.9
消 防 費	833,117	1,057,992	△ 224,875	3.8	4.1	△ 21.3
教 育 費	1,510,485	1,625,581	△ 115,096	6.8	6.3	△ 7.1
災 害 復 旧 費	0	7,593	△ 7,593	0.0	0.0	皆減
公 債 費	2,085,071	2,079,896	5,175	9.4	8.0	0.2
合 計	22,166,206	26,017,763	△ 3,851,557	100.0	100.0	△ 14.8

第5表 一般会計歳出決算額（性質別）の状況

（単位：千円・％）

区 分	決 算 額			決算額構成比		決算額増減率
	令和3年度	令和2年度	増 減 額	令和3年度	令和2年度	
人 件 費	3,693,434	3,437,266	256,168	16.7	13.2	7.5
うち職員給	2,062,781	2,046,553	16,228	9.3	7.9	0.8
物 件 費	2,246,493	2,515,655	△ 269,162	10.1	9.7	△ 10.7
維持補修費	679,421	622,899	56,522	3.1	2.4	9.1
扶 助 費	2,844,169	2,246,694	597,475	12.8	8.6	26.6
補助費等	4,994,637	7,937,363	△ 2,942,726	22.5	30.5	△ 37.1
普通建設事業費	1,946,746	3,425,365	△ 1,478,619	8.8	13.2	△ 43.2
補助事業費	785,293	623,141	162,152	3.5	2.4	26.0
単独事業費	928,641	2,550,721	△ 1,622,080	4.2	9.8	△ 63.6
県営事業負担金	232,812	251,503	△ 18,691	1.1	1.0	△ 7.4
災害復旧事業費	941	7,593	△ 6,652	0.0	0.0	△ 87.6
補助事業費	0	0	0	0.0	0.0	—
単独事業費	941	7,593	△ 6,652	0.0	0.0	△ 87.6
公 債 費	2,085,071	2,079,896	5,175	9.4	8.0	0.2
積 立 金	1,410,328	1,486,348	△ 76,020	6.4	5.7	△ 5.1
投資及び出資金	404,708	416,517	△ 11,809	1.8	1.6	△ 2.8
貸 付 金	374,300	380,500	△ 6,200	1.7	1.5	△ 1.6
繰 出 金	1,485,958	1,461,667	24,291	6.7	5.6	1.7
合 計	22,166,206	26,017,763	△ 3,851,557	100.0	100.0	△ 14.8

第6表 一般会計市債の目的別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和2年度末 現在高 A	令和3年度末 発行高 B	令和3年度中元利償還額			差引現在高 A+B-C D	Dの借入先別内訳	
			元金 C	利子	計		政府資金	その他
1 総務債	3,076,475	560,300	138,185	816	139,001	3,498,590	448,100	3,050,490
2 民生債	312,479	31,900	13,102	1,207	14,309	331,277	41,447	289,830
3 衛生債	1,043,979	57,100	151,740	8,765	160,505	949,339	672,292	277,047
4 農林水産業債	640,592	96,900	32,714	3,289	36,003	704,778	519,437	185,341
5 商工債	46,654	1,500	893	81	974	47,261	9,700	37,561
6 土木債	1,771,505	173,400	309,811	9,569	319,380	1,635,094	38,694	1,596,400
7 消防債	1,124,772	59,800	63,383	1,274	64,657	1,121,189	0	1,121,189
8 教育債	2,833,698	0	154,852	11,000	165,852	2,678,846	251,242	2,427,604
9 公営住宅債	113,330	0	21,821	1,718	23,539	91,509	91,509	0
10 辺地対策債	530,030	205,400	37,972	216	38,188	697,458	697,458	0
11 過疎対策債	4,021,337	91,100	266,040	3,994	270,034	3,846,397	3,581,817	264,580
12 災害復旧債	245,982	0	39,331	134	39,465	206,651	204,252	2,399
13 転貸債	399,102	0	44,059	1,230	45,289	355,043	0	355,043
14 減税補てん債	29,860	0	9,144	56	9,200	20,716	20,716	0
15 臨時財政対策債	7,251,252	432,408	741,555	16,335	757,890	6,942,105	5,559,415	1,382,690
16 減収補てん債	33,639	0	0	1	1	33,639	0	33,639
17 特別減収対策債	62,534	0	0	143	143	62,534	0	62,534
合 計	23,537,220	1,709,808	2,024,602	59,828	2,084,430	23,222,426	12,136,079	11,086,347

第7表 特別会計決算収支の状況

(単位：千円・%)

区 分	歳 入 総 額				歳 出 総 額				歳入歳出 差引額 A-B C	繰越事業費 繰越財源 D	実質収支額 C-D
	令和3年度 A	令和2年度	増 減 額	増減率	令和3年度 B	令和2年度	増 減 額	増減率			
集中管理特別会計	4,181,623	3,900,055	281,568	7.2	4,181,623	3,900,055	281,568	7.2	0	0	0
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	3,132,082	3,238,419	△ 106,337	△ 3.3	2,944,378	2,868,402	75,976	2.6	187,704	0	187,704
国民健康保険特別会計 (神代診療施設勘定)	91,712	82,334	9,378	11.4	91,681	82,276	9,405	11.4	31	0	31
後期高齢者医療特別会計	337,262	341,157	△ 3,895	△ 1.1	337,160	339,936	△ 2,776	△ 0.8	102	0	102
介護保険特別会計	455,607	438,245	17,362	4.0	455,527	438,207	17,320	4.0	80	0	80
生保内財産区特別会計	117,375	123,307	△ 5,932	△ 4.8	106,716	96,957	9,759	10.1	10,659	0	10,659
田沢財産区特別会計	61,722	63,410	△ 1,688	△ 2.7	52,589	45,273	7,316	16.2	9,133	0	9,133
雲沢財産区特別会計	10,520	12,287	△ 1,767	△ 14.4	8,809	11,522	△ 2,713	△ 23.5	1,711	0	1,711

4、主要施策の実績

(1) 一般会計

2 款 総務費 1 項 総務管理費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
4,335,471,000	4,067,122,810	19,842,000	248,506,190	<p>○職員研修費 人材育成基本方針に則り、効果的・効率的な行政運営のため、職員の能力開発を図り、弾力的な組織体制づくりを目指す。</p>	<p>○職員研修費 8,558,258円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣研修旅費 8,247,600円 <ul style="list-style-type: none"> 秋田県観光連盟 1人 秋田県企画振興部市町村課 1人 秋田県地方税滞納整理機構 1人 秋田県産業労働部企業立地事務所 1人 秋田県産業労働部産業集積課 1人 秋田県後期高齢者医療広域連合 1人 東日本旅客鉄道株式会社秋田支社 1人 北秋田市（内陸線再生支援室） 1人 ・職員研修旅費 46,658円 <ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修 8人 ・報償費 110,000円 <ul style="list-style-type: none"> 管理職研修 23人 若手職員研修 19人 <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、能力開発その他研修は、集合研修ではなく、Web会議方式や動画視聴方式による研修となった。また、新規採用職員研修についても、前期途中からWeb会議方式に変更しての開催となった。職員個々のスキルアップが組織力の維持・向上に必要不可欠であり、市独自に管理職及び若手職員を対象とした研修も実施し、能力の向上を図った。</p>
				<p>○法規管理費 仙北市例規集のデータベース、追録の更新など、例規整備に関するサポートを受けながら、管理徹底を図る。</p>	<p>○法規管理費 3,175,920円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙北市例規集追録作成 610,720円 <ul style="list-style-type: none"> 例規集70部（年4回更新） ・例規集データベース更新業務 2,057,000円 ・例規支援システム利用料 508,200円 <p>例規整備を円滑かつ的確に行うことができた。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○広報等発行費 読みやすく充実した内容の広報づくりを目指し、定期的に読者に大切な情報をお知らせする。</p>	<p>○広報等発行費 12,734,516円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報編集委員報償費 60,000円 広報編集委員会議・広報作製・編集協力 ・ 広報せんぼく等印刷費 4,484,508円 広報せんぼく印刷（年24回×11,300部） ・ 広報紙等配布事業補助金 7,600,000円 シルバー人材センターで市内全世帯に配布 <p>年24回発行の「広報せんぼく」の発行において広報編集委員の助言と指導のもと、内容の充実した紙面作りをすることができた。配布については、シルバー人材センターにより、すべて遅滞なく的確に全戸配布した。</p>
				<p>○行政連絡員費 地域と行政の橋渡し役として、行政連絡員を設置する。災害時や緊急時の情報伝達など、役割を限定して依頼する。</p>	<p>○行政連絡員費 1,883,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政連絡員報償費 1,700,000円 5,000円×340人（一律5,000円） <p>災害発生時の地域内の連絡調整や日常の防災対策、地域の課題・要望、空き家情報の提供など、地域と行政との橋渡し役として業務を担っていただいた。</p>
				<p>○公式ウェブサイト管理費 仙北市の公式ウェブサイトの情報が定期的に更新され、正常で適正に稼働する状態にするため、保守業務を委託して行う。</p>	<p>○公式ウェブサイト管理費 660,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙北市公式ウェブサイト保守業務委託 528,000円 ・ 仙北市公式ウェブサイトサイトデータ移転業務委託 132,000円 <p>年間を通じ公式ウェブサイトを正常かつ適正に稼働することができた。また、サーバ更新に伴うデータ移転を円滑に行うことができた。</p>
				<p>○地籍調査事業費 地籍調査（一筆地調査）を実施し、地籍簿、地籍図を作成する。</p>	<p>○地籍調査事業費 13,807,937円</p> <p>【繰越明許】 9,407,775円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地籍調査（一筆地調査） 調査面積 0.28km² 調査前筆数 387筆 調査後筆数 315筆 調査地 角館町八割猿田沢、袖ヶ沢、塩手沢の各一部 ・ 地籍簿、地籍図の作成（令和2年度調査分） 調査面積 0.28km²

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					調査前筆数 570筆 調査後筆数 315筆 調査地 角館町角館町川原赤平、西沢一ツ森、東沢、館ノ沢、館下、太田、若神子、中川原、下袋の各一部 正確な地図や台帳をすることにより、災害などで境界が不明になっても容易に復元でき境界紛争等トラブル防止につながっている。また、財産の明確化に寄与した。
				○普通財産等管理費 市の普通財産を適正に管理する。	○普通財産等管理費 13,483,997円 ・国土調査修正業務委託 2,101,332円 ・たざわ湖スキー場水沢ロマンスリフト整備工事 5,918,000円 市有財産の良好な管理に寄与することができた。
				○公共施設等マネジメント事業費 公共施設等総合管理計画及び第1期個別施設計画に基づき施設の除却等を実施する。	○公共施設等マネジメント事業費 131,119,056円 ・旧角館庁舎解体工事 103,928,000円 ・旧角館総合病院敷地土壌汚染概況調査 12,364,000円 ・旧中町庁舎（土地・建物）不動産鑑定業務 330,000円 ・仙北市役所田沢湖庁舎空調設備（冷暖房エアコン） 5,420,800円 施設廃止した旧角館庁舎の速やかな解体工事を行い、公共施設の適正管理に努めた。また、旧角館総合病院解体に向けて敷地内の土壌汚染概況調査を行い、調査の結果、汚染物質は検出されなかった。
				○情報通信施設管理運営費 光ブロードバンド設備等の管理運営を行う。	○情報通信施設管理運営費 14,367,489円 ・設備に係る災害保険料等 153,629円 ・光ファイバ通信設備保守委託・通信事業者設備との接続補完業務委託 6,080,580円 ・光ケーブル添架料及び地下管路使用料 3,777,280円 ・光伝送路移設工事 4,356,000円 市民等の高度情報化及び情報格差の是正を図るため、情報インフラである光ブロードバンド設備等を安定利用できるよう管理運営した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																				
				計画	実績及び効果																																			
				○クニマス未来館管理運営費 田沢湖クニマス未来館の維持管理を行う。(平成29年7月1日開館)	○クニマス未来館管理運営費 17,947,487円 ・観覧料収入 2,191,500円 ・主な経費 ・会計年度任用職員報酬等(5人) 13,030,232円 ・電気料、水道料 1,980,708円 ・警備保障等施設保守点検業務委託 1,425,635円 【入館者数】(単位:人) <table border="1"> <tr><td>4月</td><td>627</td><td>8月</td><td>1,681</td><td>12月</td><td>214</td></tr> <tr><td>5月</td><td>1,327</td><td>9月</td><td>880</td><td>1月</td><td>255</td></tr> <tr><td>6月</td><td>1,113</td><td>10月</td><td>1,804</td><td>2月</td><td>211</td></tr> <tr><td>7月</td><td>1,553</td><td>11月</td><td>1,479</td><td>3月</td><td>242</td></tr> <tr><td colspan="5"></td><td>計</td><td>11,386</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>前年度入館者数</td><td>13,930</td></tr> <tr><td>増 減</td><td>△ 2,544</td></tr> </table> 田沢湖クニマス未来館を良好に維持管理した。	4月	627	8月	1,681	12月	214	5月	1,327	9月	880	1月	255	6月	1,113	10月	1,804	2月	211	7月	1,553	11月	1,479	3月	242						計	11,386	前年度入館者数	13,930	増 減	△ 2,544
4月	627	8月	1,681	12月	214																																			
5月	1,327	9月	880	1月	255																																			
6月	1,113	10月	1,804	2月	211																																			
7月	1,553	11月	1,479	3月	242																																			
					計	11,386																																		
前年度入館者数	13,930																																							
増 減	△ 2,544																																							
				○思い出の潟分校管理運営費 思い出の潟分校の維持管理を行う。(平成29年4月1日より市管理)	○思い出の潟分校管理運営費 4,068,940円 ・観覧料収入 1,376,850円 ・主な経費 ・会計年度任用職員報酬等(2人) 3,164,326円 ・電気料、水道料、ガス代 255,323円 ・灯油代 165,688円 ・チケット、パンフレット印刷代 198,000円 【入館者数】(単位:人) <table border="1"> <tr><td>4月</td><td>370</td><td>8月</td><td>1,033</td><td>12月</td><td>165</td></tr> <tr><td>5月</td><td>636</td><td>9月</td><td>631</td><td>1月</td><td>156</td></tr> <tr><td>6月</td><td>650</td><td>10月</td><td>820</td><td>2月</td><td>170</td></tr> <tr><td>7月</td><td>984</td><td>11月</td><td>844</td><td>3月</td><td>166</td></tr> <tr><td colspan="5"></td><td>計</td><td>6,625</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>前年度入館者数</td><td>6,351</td></tr> <tr><td>増 減</td><td>274</td></tr> </table> 思い出の潟分校を良好に維持管理した。	4月	370	8月	1,033	12月	165	5月	636	9月	631	1月	156	6月	650	10月	820	2月	170	7月	984	11月	844	3月	166						計	6,625	前年度入館者数	6,351	増 減	274
4月	370	8月	1,033	12月	165																																			
5月	636	9月	631	1月	156																																			
6月	650	10月	820	2月	170																																			
7月	984	11月	844	3月	166																																			
					計	6,625																																		
前年度入館者数	6,351																																							
増 減	274																																							

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○総合行政情報システム管理費 光ブロードバンド設備等の管理運営を行う。</p>	<p>○総合行政情報システム管理費 127,717,032円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要費(基幹系プリンタートナー等) 1,333,043円 ・役務費(保守用電話回線等) 1,257,498円 ・委託料 <ul style="list-style-type: none"> 基幹系システム保守業務委託 24,030,600円 財務会計等システム保守業務委託 6,534,000円 情報通信ネットワークシステム保守業務委託 7,480,000円 次期セキュリティクラウド移行設定業務委託 935,000円 その他業務委託 2,152,084円 ・使用料及び賃借料 82,195,321円 <ul style="list-style-type: none"> 基幹系業務システム使用料 19,351,200円 情報通信回線等利用料 3,696,000円 資産管理システム保守サポート 5,783,786円 基幹系・住基ネットシステム賃借料 17,841,556円 パソコン・プリンタ等賃借 15,917,920円 角館・西木ネットワーク関係等機器更改 2,918,160円 庁内IP電話機器更改 9,702,691円 情報系サーバ等機器類賃借 3,914,536円 情報資産システム賃借 1,013,364円 その他業務委託 2,056,108円 ・公有財産購入費 35,358円 <ul style="list-style-type: none"> 電気供給設備(電柱)譲受費用 ・負担金 1,764,128円 <ul style="list-style-type: none"> 秋田県情報セキュリティクラウド運営経費負担金等 <p>基幹系システムや一般事務用機器、ネットワーク等について、制度改正や耐用年数経過、技術革新等に対応するため、保守委託、機器更改等を行い、事務の効率化や情報漏えい等へのリスク対策、住民サービスの向上等を行った。</p>
				<p>○地域カステップアップ事業費 新型コロナウイルス感染症の拡大により疲弊した市内事業等を活性化させることを目的に、市民団体等へ補助金を交付する。</p>	<p>○地域カステップアップ事業費 300,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度仙北市協働によるまちづくり提案型補助金事業 <ul style="list-style-type: none"> 採用件数：1件 団体名：発達支援・子育て相談・心のケア”ふらここ” 交付額：300,000円 <p>仙北市の子ども達を多方面から応援する機関を財政的に支援することにより子育て環境の活性化に寄与することができた。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○定住対策推進事業費 空き家バンクの利用促進や移住フェア等への参加、移住者向け情報パンフレットによる情報発信、ふるさとサポーターへの支援依頼、定住促進奨励金の交付による移住定住の推進を図る。</p>	<p>○定住対策推進事業費 918,400円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 194,850円 ・移住定住ガイドブック「おかえり」作成 108,570円 ・定住促進奨励金(9件) 535,600円 ・空き家家財道具等整理補助金(1件) 79,380円 <p>空き家バンクへの新規空き家登録数〔4件〕、新規利用登録者数〔21件〕、バンク内成約件数〔2件〕があり、空き家の利活用を促進することができた。また、住宅取得後の固定資産税相当額を奨励金として交付することにより移住者の定住に寄与した。</p>
				<p>○姉妹都市等交流推進費 姉妹都市等との友好交流事業を実施する。 姉妹都市：大村市 三市連携交流提携都市：秋田市、常陸太田市</p>	<p>○姉妹都市等交流推進費 2,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵便料 2,000円 <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種事業が中止となった。濱田謹吾銅像建立35周年式典(長崎県大村市開催)では、ビデオメッセージを送付する形での参加となった。</p>
				<p>○男女共同参画推進事業費 男女が社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野で共に活動に参画し、利益を得、責任を担う社会を築き上げるため、啓発等の事業を実施する。</p>	<p>○男女共同参画推進事業費 155,591円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進委員報償費(3回開催) 125,000円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 30,591円 <p>第4次仙北市男女共同参画計画策定に向け、意見や提案をいただくため、男女共同参画推進委員会を開催。また、女性活躍推進協議会委員と連携し、男女共同参画社会の形成に向け、講師を招いてリモートによるイクボスセミナーを開催した。</p>
				<p>○クニマス里帰りプロジェクト事業費 田沢湖再生検討会の開催及び地元団体等と連携した白浜クリーンアップを実施し、クニマス里帰りに向けた環境づくりへの意識を高める。</p>	<p>○クニマス里帰りプロジェクト事業費 767,876円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖再生検討会委員謝礼(1回開催) 60,000円 ・アドバイザー報償費、旅費 265,000円 ・クニマス借受けに係る旅費、運送料等 378,976円 ・田沢湖クリーンアップ活動その他消耗品等 63,900円
				<p>○再生可能エネルギー導入促進事業費 EV(電気自動車)及びEV用充電器の維持管理を行う。また、再生可能エネルギー導入に向けた取組を推進する。</p>	<p>○再生可能エネルギー導入促進事業費 601,345円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地熱コンソーシアム先進地視察旅費 6,600円 ・EV車検代、修繕料 38,900円 ・EV及びEV用充電器保険料、重量税等 119,845円 ・EVリース料 231,000円 ・印刷機使用料、郵便料 5,000円 ・小水力発電事業会社設立出資金 200,000円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要										
				計画	実績及び効果									
					新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地熱資源開発に向けた自治体連絡協議会は中止となった。									
				○社会保障・税番号制度システム整備費 社会保障及び税番号制度システムを整備・運用する。	○社会保障・税番号制度システム整備費 9,485,460円 ・社会保障・税番号制度システム整備委託等 3,305,500円 ・ID連携サーバー更改 2,016,960円 ・中間サーバー・プラットフォームASPサービス委任交付金 4,163,000円 情報連携環境を整備し、インターネットを活用した行政サービスの推進を図った。									
				○ふるさと納税ふるさと便事業費 ふるさと納税を通して仙北市の特産品を返礼することで、その魅力を全国にPRするとともに、仙北市の産業振興と観光促進を図る。	○ふるさと納税ふるさと便事業費 649,709,571円 ・会計年度任用職員報酬等(1人) 2,861,269円 ・返礼品代、送料 429,558,107円 ・決済手数料 2,590,716円 ・業務委託料 214,243,546円 ・消耗品、コピー代等 455,933円 ・ふるさと納税申込件数及び金額 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>55,722件</td> <td>80,458件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>1,133,914,000円</td> <td>1,458,743,219円</td> </tr> </tbody> </table> 寄附金額が前年度比22.3%の減となったが、各ポータルサイトでの露出やメルマガ等において本市の魅力を全国にPRすることができた。		令和3年度	令和2年度	件数	55,722件	80,458件	金額	1,133,914,000円	1,458,743,219円
	令和3年度	令和2年度												
件数	55,722件	80,458件												
金額	1,133,914,000円	1,458,743,219円												
				○地域おこし協力隊事業費 自然豊かな地域での生活や地域社会へ貢献することを求める都市地域の人材を積極的に誘致し、地域協力活動に従事してもらいながら定住・定着を図る。	○地域おこし協力隊事業費 10,387,111円 ・委託料 3人分 10,387,111円 ①グリーンツーリズム・農泊関連事業推進 1人 (R1.9着任) ②アクティビティガイド人材育成 1人 (R2.8着任) ③日本版DMO登録推進 1人 (R2.9着任) 隊員はそれぞれの活動テーマで地域活性化の取り組みを行っている。隊員同士の連携による地域活動及び情報発信など、活動の範囲を広げ、地域の活性化に寄与した。									

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○地方創生推進事業費 地方創生特区の規制緩和メニューの活用や認定事業の進捗管理及び特区の周知に取り組む。また、ドローンをはじめとする先端技術を活用した新たな産業の創出と地域課題解決につながるサービスの提供を推進する。</p>	<p>○地方創生推進事業費 1,182,661円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略アドバイザー謝礼 40,000円 ・消耗品、コピー代、郵便料、修繕料等 390,733円 ・ドローン飛行エリア草刈り等環境整備 139,568円 ・疲労ストレス測定器保守点検業務委託料 612,360円 <p>ドローン飛行エリア利用者数89人。近未来技術の実証実験相談窓口として開設した「仙北市近未来技術実証ワンストップセンター」の相談件数は14件、うち3件が実証実験を実施。</p>
				<p>○仙北市女性の活躍推進事業費 女性活躍推進法に基づき、地域の女性が活躍できる社会を推進するため、女性活躍推進協議会による各種事業を実施する。</p>	<p>○仙北市女性の活躍推進事業費 236,930円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イクボスセミナー講師謝礼 70,000円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 166,930円 <p>男女共同参画推進委員と連携し、女性が活躍できる社会の形成に向け、講師を招いてリモートによるイクボスセミナーを開催した。</p>
				<p>○出会い・結婚支援事業費 少子化対策の強化のため、結婚に対して夢と希望を持てるライフプランを描くことができるよう総合的な情報発信と、独身男女の出会いの機会や結婚のきっかけづくりを支援する。</p>	<p>○出会い・結婚支援事業費 241,736円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきた結婚支援センター運営費負担金 143,000円 ・あきた結婚支援センター入会登録料負担金 70,000円 <p>(7件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷機使用料、郵便料 28,736円 <p>あきた結婚支援センターへの入会を促進し、センターが運用するAI（人工知能）搭載のマッチングシステムやオンライン婚活など利便性の高いサービスを活用することで、結婚を希望する方々のサポートを実施した。</p>
				<p>○総合政策審議会費 仙北市総合政策審議会を開催し、第2次仙北市総合計画、総合戦略の進捗状況・効果検証等について審議する。</p>	<p>○総合政策審議会費 71,987円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙北市総合政策審議会委員報酬・費用弁償（2回開催） 62,987円 ・郵便料 9,000円 <p>第2次仙北市総合計画及び総合戦略の進捗状況・効果検証等について審議いただくとともに、過疎地域持続的発展市町村計画・地域公共交通計画の策定について審議いただいた。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○市民意識調査事業費 「仙北市総合計画」及び「仙北市総合戦略」の進行管理に活用し、政策評価等において市民意識を取り入れるため、市民を対象としたアンケート調査を実施する。</p>	<p>○市民意識調査事業費 192,550円 ・令和3年度市民意識調査コピー代、郵便料等 192,550円 「仙北市総合計画」及び「仙北市総合戦略」の進行管理に活用し、政策評価等において市民意識を取り入れるため、市民（1,000人）を対象としたアンケート調査を実施し有効回答数は461人となった。今回の調査で得た回答をもとに今後の施策に反映する。</p>
				<p>○持続可能な開発目標（SDGs）推進事業費 仙北市は、国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を積極的に推進する自治体の一つとして、2018年6月に「SDGs未来都市」に選定された。2030年までに達成すべき世界共通の17の目標について、市民や関係団体等に理解を深めてもらうための啓発活動や、持続可能なまちづくりを推進する取り組みを展開する。</p>	<p>○持続可能な開発目標（SDGs）推進事業費 93,332円 ・仙北市SDGs川柳コンクール事業費 16,000円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 77,332円 秋田県が創設した「秋田県SDGsパートナー登録制度（第1期）」に応募し認定されている。また、市民を対象に仙北市SDGs川柳コンクールを実施したほか、教育旅行や視察受け入れ時にSDGs講演を行い、SDGsの普及・啓発に広く取り組んだ。</p>
				<p>○玉川ダム竣工30周年記念事業開催費 玉川ダムが竣工して30周年の節目に、かつてダムの建設に携わった方々や多大な協力をいただいた皆様をはじめとする、諸先輩の業績や貢献を後世に伝えるとともに、玉川ダム事業の効果や近年多発している水害や渇水などへの対応について、地域で考える機会をつくることを目的に記念シンポジウムを行う。</p>	<p>○玉川ダム竣工30周年記念事業開催費 100,000円 ・記念シンポジウム時太鼓演奏披露謝礼 100,000円 R3.11.20開催。オープニングセレモニーでは、地元団体による和太鼓演奏を披露。来場者数約150人。</p>
				<p>○第三セクター経営改革推進事業費 新型コロナウイルス感染拡大により、集客が見込めず厳しい経営状況にあり、経営継続が困難になることが予想されることから、コンサルタントによる経営診断結果を踏まえて、4社の統合再編も含め検討する。</p>	<p>○第三セクター経営改革推進事業費 12,540,000円 仙北市第三セクター経営改善コンサルティング業務 12,540,000円 財務分析をはじめとする各社の現状分析を実施。赤字要因や今後の検討課題に関する報告書が納品された。協議の結果、新たに新会社を立ち上げることを決定し、一定の住民サービスを維持しながら損益の改善を目指すこととした。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○行政DX推進事業費 国が進めるデジタル化とは別に、新型コロナウイルス感染拡大に対応した市独自のDXを進めるため、各業務の洗い出しや、現状分析、課題抽出などの調査を委託し、AIやRPA等の導入に向けた行政DX実施計画策定をする。</p>	<p>○行政DX推進事業費 4,644,750円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙北市DX推進計画策定支援業務 4,613,730円 ・12/23 DXアドバイザー研修・打合せに係る旅費 31,020円 <p>全職員に対する業務量調査を実施し、調査結果を踏まえて仙北市DX推進計画を策定した。</p>
				<p>○サテライトオフィス誘致促進事業費（地方創生推進交付金） アフターコロナでのサテライトオフィスの地方設置を検討している首都圏等のデジタル企業に対する誘致活動や、サテライトオフィス関係者の市内移動手段となる新型モビリティサービスの事業化実証実験を行う。また、デジタル企業のニーズに応えられるデジタル人材の育成プログラムを実施する。</p>	<p>○サテライトオフィス誘致促進事業費（地方創生推進交付金） 11,843,923円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品、印刷機使用料、郵便料等 101,214円 ・サテライトオフィス誘致調査・企画業務委託 3,914,229円 ・新型モビリティサービス事業化調査・企画業務委託 2,407,680円 ・デジタル人材育成研修企画・運營業務委託 5,420,800円 <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大の第6波と重なったため、サテライトオフィス誘致モニターツアーは実施できなかったが、オンラインツアーとして実施し、3社が参加した。 デジタル人材育成講座には、社会人3人、高校生7人の計10人が参加した。また、高齢者向けスマートフォン講座は26人、小中学生向けスマートフォン講座は8人が参加した。</p>
				<p>○地域運営体活動推進費交付金 地域の特性を活かした自主的、主体的な活動により、地域が抱えている様々な課題を解決したり、所得や生活基盤の向上を図るための事業を行うことで、元気で住みやすく魅力ある地域にするための地域自治組織である地域運営体に財政的支援を行う。</p>	<p>○地域運営体活動推進費交付金 24,424,358円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域運営体別交付額（設立順） ①田沢地域運営体「荷葉」（H22.4.1設立） 3,007,368円 むらの喫茶店「たざわ」運営事業 他 ②白岩地域運営体（H22.8.1設立） 2,194,663円 抱返り地区不法投棄防止フェンス設置事業 他 ③桧木内地域運営体（H22.8.22設立） 2,285,475円 環境整備事業 他 ④神代地域運営体（H22.9.5設立） 3,273,424円 総合型地域スポーツクラブ育成事業 他 ⑤西明寺地域運営体（H22.10.24設立） 2,816,827円 地域防災事業 他

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				⑥雲沢地域運営体 (H22. 12. 12設立) 広場環境整備事業 他 ⑦生保内地域運営体「嶽の会」 (H23. 1. 29設立) 町内会座卓テーブル設置事業 他 ⑧中川地域運営体 (H23. 4. 16設立) 集会施設整備事業 他 ⑨角館まちづくり地域運営体 (H23. 11. 27設立) 施設維持管理事業 他 コロナ禍で実施できない事業もあったが、地域ごとの課題解決や魅力増進、所得向上などに向けた事業が展開され、自主的なまちづくりの推進に寄与した。	1,348,658円 3,152,584円 2,707,321円 3,638,038円
			○秋田内陸線通学定期補助金 通学のために秋田内陸線を利用する市内中高生等の定期券購入に対し助成する。	○秋田内陸線通学定期補助金 ・利用実績 19人 内陸線定期運賃とJR定期運賃の差額分を補助し、市内に定住する子育て家庭の経済的負担を軽減することができた。	1,440,200円 1,440,200円
			○結婚新生活支援事業補助金（地域少子化対策重点推進交付金） 少子化対策の強化に資することを目的として、新規に婚姻した世帯に対し、その住居費及び引越費用等の一部を補助し、結婚に伴う新生活に係る経費を支援する。	○結婚新生活支援事業補助金（地域少子化対策重点推進交付金） ・交付実績 6件 結婚新生活のスタートアップに係る経済的不安の軽減を図ることで若者の定住を推進し、地域コミュニティの活性化に寄与した。	1,585,000円 1,585,000円
			○若者マイホーム取得助成金 若者の定住を促進し、活力に満ちたまちづくりを推進するため、市内に定住するための住宅を取得する若者世帯（45歳以下の夫婦）に対して助成金を交付する。	○若者マイホーム取得助成金 ・交付実績 22件 （うち、市内業者加算14件） 定住のための住宅を取得する若者世帯への助成によって、若い世代の地元定着を促進し、地域コミュニティの活性化に寄与した。	13,800,000円 13,800,000円
			○地域振興事業 各市民センターにおいて、地域住民の要望や災害発生等により緊急に対応すべき案件に迅速に対処する。	○地域振興事業費 ・田沢湖地区 6件 ・角館地区 6件 ・西木地区 4件 地域からの要望や災害発生時の応急対応など、3地区で合計16件の対応を行った。各要望に速やかに対応できたことで、地域の安心、安全の向上に寄与した。	3,672,040円 1,116,674円 1,329,020円 1,226,346円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																															
				計画	実績及び効果																														
				<p>○生活路線代替バス運行費 民間バス事業者の路線廃止に伴い、地域と学校、医療機関等を結ぶ市民バス及びデマンド型乗合タクシーの運行を行う。</p>	<p>○生活路線代替バス運行費 56,407,332円</p> <p>・市民バス（向生保内線） ※指定管理者</p> <p>①事業概要 運行日数 295 日 1日平均乗車数 17.8 人</p> <table border="1"> <tr><td>大人利用者</td><td>4,752 人</td></tr> <tr><td>子供利用者</td><td>488 人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>5,240 人</td></tr> </table> <p>②事業収支収入 県補助金 1,420,000 円</p> <p>支出</p> <table border="1"> <tr><td>運行維持費</td><td>1,722,574 円</td></tr> <tr><td>運転委託費</td><td>6,925,000 円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>8,647,574 円</td></tr> </table> <p>・市民バス（中川線及び下延八割線） ※指定管理者</p> <p>①事業概要 運行日数 295 日 1日平均乗車数 74.6 人</p> <table border="1"> <tr><td>大人利用者</td><td>13,125 人</td></tr> <tr><td>子供利用者</td><td>8,896 人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>22,021 人</td></tr> </table> <p>②事業収支収入 県補助金 3,707,000 円</p> <p>支出</p> <table border="1"> <tr><td>運行維持費</td><td>1,742,318 円</td></tr> <tr><td>運転委託費</td><td>15,640,000 円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>17,382,318 円</td></tr> </table> <p>・デマンド型乗合タクシー</p> <p>①事業概要 運行日数(各社平均) 295 日 1日平均乗車数 70.2 人</p> <table border="1"> <tr><td>大人利用者</td><td>15,159 人</td></tr> <tr><td>子供利用者</td><td>5,549 人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>20,708 人</td></tr> </table>	大人利用者	4,752 人	子供利用者	488 人	合計	5,240 人	運行維持費	1,722,574 円	運転委託費	6,925,000 円	合計	8,647,574 円	大人利用者	13,125 人	子供利用者	8,896 人	合計	22,021 人	運行維持費	1,742,318 円	運転委託費	15,640,000 円	合計	17,382,318 円	大人利用者	15,159 人	子供利用者	5,549 人	合計	20,708 人
大人利用者	4,752 人																																		
子供利用者	488 人																																		
合計	5,240 人																																		
運行維持費	1,722,574 円																																		
運転委託費	6,925,000 円																																		
合計	8,647,574 円																																		
大人利用者	13,125 人																																		
子供利用者	8,896 人																																		
合計	22,021 人																																		
運行維持費	1,742,318 円																																		
運転委託費	15,640,000 円																																		
合計	17,382,318 円																																		
大人利用者	15,159 人																																		
子供利用者	5,549 人																																		
合計	20,708 人																																		

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																	
				計画	実績及び効果																
				②事業収支収入 県補助金 6,912,000円 支出 運行維持費 29,950,770円 ・消耗品、印刷機使用料、郵便料、保険料等 426,670円 民間バス事業者の路線廃止に伴い、市民バス及びデマンド型乗合タクシーを運行し、各地域と学校や医療機関、活動拠点などをつなぎ、生活実態に応じた路線の確保と交通の利便性を確保した。																	
			○生活バス路線対策費 日常生活上の交通手段の確保のため、民間バス事業者の運営に対し補助を行う。	○生活バス路線対策費 46,051,083円 ・生活バス路線等維持費補助金 46,047,000円 対象：市内4系統（羽後交通株式会社） （財源内訳） 県補助金 4,261,000円 一般財源 41,786,000円 ・バス停留所待合所土地賃貸借料 4,083円 民間が運行している路線バスは、市内はもとより他市町をつなぐ生活交通としての役割を担っている。補助金の交付により日常の移動が困難な交通弱者など、市民が生活を維持する上で重要な交通路線を確保した。																	
			○地域公共交通対策費 地域公共交通利活用の推進を図るため、免許返納制度に伴う免許返納者に対して、市内公共交通において使用できる回数券を交付する。	○地域公共交通対策費 1,012,772円 ・免許返納制度補助金 110,400円 交付者数 262人 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>平成26年度</td><td>10人</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>21人</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>42人</td></tr> <tr><td>平成29年度</td><td>31人</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>平成30年度</td><td>42人</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>55人</td></tr> <tr><td>令和2年度</td><td>25人</td></tr> <tr><td>令和3年度</td><td>36人</td></tr> </table> 免許返納した高齢者等の地域公共交通利用の増に繋がった。 ・JR角館駅待合室賃借料（電子看板電気料分） 8,502円 ・内陸線安全対策等（中村踏切、鳥屋森踏切ほか4種踏切） 829,400円 ・その他（秋田内陸線ギフト回数乗車券購入、仙北市「通勤通院等実証運行」乗車運賃） 64,470円 安全対策を行い、踏切事故の防止に取り組んだ。	平成26年度	10人	平成27年度	21人	平成28年度	42人	平成29年度	31人	平成30年度	42人	令和元年度	55人	令和2年度	25人	令和3年度	36人	
平成26年度	10人																				
平成27年度	21人																				
平成28年度	42人																				
平成29年度	31人																				
平成30年度	42人																				
令和元年度	55人																				
令和2年度	25人																				
令和3年度	36人																				

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																
				計画	実績及び効果																															
				<p>○秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金 日常生活上の交通手段の確保及び観光産業の活性化のため、秋田内陸縦貫鉄道(株)の運営に対し四者合意に基づき、補助を行う。</p>	<p>○秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金 79,800,000円 ・鉄道路線（角館駅～鷹巣駅）94.2km 輸送人員実績（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>4～9月</th> <th>10～3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R03</td> <td>輸送人員</td> <td>94,619</td> <td>82,573</td> <td>177,192</td> </tr> <tr> <td>うち外国人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R02</td> <td>輸送人員</td> <td>92,605</td> <td>87,386</td> <td>179,991</td> </tr> <tr> <td>うち外国人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">増減</td> <td>輸送人員</td> <td>2,014</td> <td>△ 4,813</td> <td>△ 2,799</td> </tr> <tr> <td>うち外国人</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※外国人実績については団体旅行実績数値 （財源内訳） 県補助金 20,000,000円 過疎対策債 59,800,000円</p> <p>経常損益△2億円以内を達成した。コロナの影響により輸送人員は減少し、特に外国人利用客は無く、外国人団体についてはインバウンド利用が完全に消失した。</p>	区分	4～9月	10～3月	計	R03	輸送人員	94,619	82,573	177,192	うち外国人	0	0	0	R02	輸送人員	92,605	87,386	179,991	うち外国人	0	0	0	増減	輸送人員	2,014	△ 4,813	△ 2,799	うち外国人	0	0	0
区分	4～9月	10～3月	計																																	
R03	輸送人員	94,619	82,573	177,192																																
	うち外国人	0	0	0																																
R02	輸送人員	92,605	87,386	179,991																																
	うち外国人	0	0	0																																
増減	輸送人員	2,014	△ 4,813	△ 2,799																																
	うち外国人	0	0	0																																
				<p>○秋田内陸線貸切列車等利用促進事業費補助金 旅行者等による秋田内陸線の利用拡大を図るため、貸切列車及びフリー切符等の割引販売に対し、秋田県50%・北秋田市30%・仙北市20%の割合で割引分を補助する。</p>	<p>○秋田内陸線貸切列車等利用促進事業費補助金 1,571,200円 ・貸切列車 112台 1,260,000円 ・ギフト回数券 1,699枚 124,800円 ・秋田内陸線ワンデーパス等 186,400円 秋田内陸線の利用促進に寄与した。</p>																															
				<p>○秋田内陸線安全対策交付金 住民生活や地域の観光を支える秋田内陸線について、新型コロナの影響により収益が悪化している間においても安全対策が適切に実施され、安全運行が継続されるよう、安全対策に係る経費負担を軽減するための交付金を交付する。</p>	<p>○秋田内陸線安全対策交付金 5,902,000円 ・施設、車両整備修繕等 3,159,000円 ・除雪費 1,639,000円 ・保険料 1,104,000円 秋田内陸線の安全運行に寄与した。</p>																															

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○収納推進費 市税をはじめとする未収金の徴収対策として次の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別徴収専門員の雇用により、徴収体制の強化を図る。 ・催告、財産調査及び滞納処分の執行により徴収率の向上を図る。 	<p>○収納推進費 10,121,931円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別徴収専門員雇用経費（実雇用数3人） 報酬・手当等 8,063,892円 訪問件数 のべ 2,731件 徴収件数 のべ 958件 徴収額 10,877,000円（督促料、延滞金含む） ・催告、財産調査及び滞納処分等業務経費 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品・燃料・印刷製本費 510,279円 通信運搬・手数料・自動車損害保険料 929,736円 使用料・賃借料（徴収車リース） 568,024円 秋田県地方税滞納整理機構負担金 50,000円 財産調査・滞納処分実績 <ul style="list-style-type: none"> 財産調査件数 558件 滞納処分件数 113件 処分徴収額 67,509,230円 <p>市税等未納者に対し、催告や滞納処分を強化している。新型コロナウイルスの影響があるも、徴収率は前年を上回ることができた。</p>
				<p>○集落集会所建設事業費補助金 集落が行う集落会館の水洗化や増改築等の事業に対し、費用の一部を補助することにより会館の利便性向上を図り、地域活動の推進、住民相互の親睦とコミュニケーションの醸成を促進する。</p>	<p>○集落集会所建設事業費補助金 2,817,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内集落会館改修事業 <ul style="list-style-type: none"> 工事場所 田沢湖岡崎字鳥居野 工事概要 屋根・外壁修繕工事 事業費 1,276,253円 市補助金 600,000円 ・上滝沢会館改修工事事業 <ul style="list-style-type: none"> 工事場所 田沢湖生保内字上滝沢 工事概要 トイレ水洗化工事 事業費 1,672,000円 市補助金 835,000円 <p>(生保内財産区から繰入)</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> ・中泊寺村部落会館トイレ改修工事業 工事場所 西木町上桧木内字中泊 工事概要 トイレ改修工事 事業費 328,757 円 市補助金 164,000 円 ・若松集落会館水道改修事業 工事場所 田沢湖卒田字北竹浦 工事概要 ボーリング・ポンプ設備工事 事業費 505,010 円 市補助金 252,000 円 ・浮世坂部落会館トイレ改修事業 工事場所 田沢湖生保内字源左エ門野 工事概要 トイレ水洗化工事 事業費 1,045,000 円 市補助金 522,000 円 (生保内財産区から繰入) ・中生保内会館エアコン設置事業 工事場所 田沢湖生保内字造道 工事概要 エアコン設置工事 事業費 669,130 円 市補助金 334,000 円 (生保内財産区から繰入) ・武蔵野会館エアコン設置事業 工事場所 田沢湖生保内字武蔵野 工事概要 エアコン設置工事 事業費 220,000 円 市補助金 110,000 円 (生保内財産区から繰入) <p>地域住民が集う集落会館の新築・増改築・浄化槽設置等を行うことにより、地域活動の拠点が整備され、住民相互の親睦とコミュニケーションの醸成がなされ、地域コミュニティの維持に繋がった。</p>

2 款 総 務 費 2 項 徴 税 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
111,677,000	103,330,892	4,840,000	3,506,108	○賦課徴収費 市税の賦課・徴収に係る事務を、電算システムを活用して適正かつ効率的に行う。	○賦課徴収費 ・家屋評価システム保守業務委託 ・税務事務システム大量出力委託 ・申告支援システム保守委託 ・固定資産税地理情報システムデータ加除修正業務委託 ・令和3年度固定資産税時点修正鑑定評価業務委託 適正かつ効率的な賦課・徴収に寄与した。
					40,191,419円 464,640円 9,861,500円 4,026,000円 3,982,000円 979,000円

2 款 総 務 費 3 項 戸籍住民基本台帳費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
66,501,000	61,470,334	3,575,000	1,455,666	○通知カード・個人番号カード関連事務費 住民票・印鑑登録証明書・戸籍証明書等を全国のコンビニエンスストア等で交付を受けられるシステムを構築・維持し、市民や本籍人の利便性向上を図る。	○通知カード・個人番号カード関連事務費 ・コンビニ交付実店舗試験に係る手数料 ・コンビニ交付に係る運営負担金 ・コンビニ交付工程試験対応業務委託料 ・マイナンバーカード券面印字プリンター購入料 ・令和3年度コンビニ交付住民票等発行部数 ・住民票の写し ・印鑑登録証明書 ・戸籍証明書 ・戸籍の附票の写し 計 1023部 全国の主要なコンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機を利用し、いつでも近くで簡単に戸籍等を取得できるようになり、利便性が高まった。
					3,852,691円 5,950円 2,218,741円 990,000円 638,000円

3 款 民 生 費 1 項 社 会 福 祉 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
3,370,546,000	3,207,673,408	77,358,000	85,514,592	○温泉休養施設管理運営費 ・指定管理 クリオンの管理運営を指定管理者により行う。 ・クリオン総合看板点検及び修繕 強風の影響で破損したクリオン総合看板の点検及び修繕を行う。	○温泉休養施設管理運営費 50,521,041円 ・指定管理業務委託料 (株)西木村総合公社 49,198,518円 ・修繕委託料 1,177,000円 看板が落下して通行人や車両に被害が及ぶことがないように対処した。
				○生活困窮者自立支援事業費 生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者(=生活困窮者)の自立促進を図るため、生活困窮者自立相談支援事業の実施、生活困窮者住居確保給付金の支給及びその他の自立を支援する。	○生活困窮者自立支援事業費 7,400,012円 ・生活困窮者自立相談支援事業委託料 4,724,800円 委託先：(福)仙北市社会福祉協議会 ・自立相談支援員賃金 2,542,409円 ・事務経費、償還金利子及び割引料 12,803円 ・住居確保給付金 120,000円 相談支援は、委託先である社会福祉協議会内に仙北市自立相談応援センターを設置し、専任職員を配置して行った。市でも相談対応をしており、合わせて年間102件の相談があり、各種情報提供や関係機関へのつなぎを実施した。 自分の力だけでは困窮から抜け出せない対象者に、各種支援策の斡旋や就労へ結びつける支援を行い、必要に応じて生活保護制度へのつなぎを実施した。
				○新型コロナウイルス対策生活応援事業費 新型コロナウイルス感染予防対策としての費用負担が増大する中で、低所得者世帯並びに子育て世帯の負担軽減を図るため、1人当たり1万円の商品券を配布する。	○新型コロナウイルス対策生活応援事業費 70,114,309円 ・事務経費(需用費、委託料等) 9,109,309円 ・負担金補助及び交付金(換金額) 61,005,000円 申請書を7,265人に送付し、申請があった6,159人に商品券を交付した。申請発行率は84.8%。発行した商品券の使用率は99%と高く、低所得者世帯などの負担軽減が図られた。
				○せんぼくこまくさプラン事業費 新型コロナウイルスの影響などで経済的に困窮し生理用品を買えない、いわゆる「生理の貧困」に悩む女性の支援を目的とする。	○せんぼくこまくさプラン事業費 326,865円 ・こまくさカード発行枚数 139枚 ・扶助費(生理用ナプキン購入費用) 326,865円 各市民センター窓口で生理用ナプキンを備え付け、匿名で気兼ねなく利用できるようにした。生活困窮などの相談に関する連絡先も一緒に配布し、必要な支援へもつながっている。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○仙北市生活応援灯油暖房費助成事業費</p> <p>灯油価格の高騰により、その影響が深刻となっている所得の少ない高齢者世帯等に対し、冬季採暖に必要な灯油購入費の一部を助成する。</p>	<p>○仙北市生活応援灯油暖房費助成事業費 6,580,729円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務経費（需用費、委託料等） 713,089円 ・支給額（交付決定件数 978件） 5,867,640円 <p>申請書を広報紙に折込し、広く周知を行った。対象となった世帯に対して灯油暖房費への負担軽減の一助となった。</p>
				<p>○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、1世帯あたり10万円の現金を給付する。</p>	<p>○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費 308,908,273円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務経費（需用費、委託料等） 3,908,273円 ・扶助費（振込対象世帯3,050世帯） 305,000,000円 <p>※非課税世帯分 3,044件 家計急変世帯分 6件</p> <p>確認書送付世帯数3,287世帯のうち、3,044世帯、約92.6%の世帯へ交付し、住民税非課税世帯等へ金銭的支援を行った。家計急変世帯や確認書送付世帯で申請されていない世帯に対し、市広報誌で申請勧奨を行った。</p>
				<p>○特別障害者手当等支給費</p> <p>重度の障がい者を有し、日常生活において常時特別な介護を必要とする状態にある在宅障がい者（児）に手当を支給する。</p> <p>特別障害者手当 27,350円／月 障害児福祉手当 14,880円／月 福祉手当（経過措置） 14,880円／月</p>	<p>○特別障害者手当等支給費 28,662,502円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内訳（実人数106人） 特別障害者手当（延月数 972月） 26,584,200円 障害児福祉手当（延月数 112月） 1,666,560円 福祉手当（延月数 12月） 178,560円 償還金利子及び割引料 233,182円 <p>計（延月数1,096月）</p> <p>精神または身体に著しく重度の障がいがある方（在宅）に手当を支給することで福祉の増進を図り、在宅生活の継続を支援した。</p>
				<p>○地域生活支援事業費</p> <p>障がいのある人が有する能力や適正に応じ、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援する。</p>	<p>○地域生活支援事業費 19,728,837円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解促進研修・啓発事業 <p>発達障害に関する理解を深め共生社会の実現を図ることを目的とし、秋田県発達障害者支援センターふきのとう秋田より講師を招き、研修会を実施した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業（相談支援事業所愛仙へ委託） <ul style="list-style-type: none"> 相談件数 1,503件 委託料 7,245,000円 <p>生活上の様々な相談を受け、自立支援医療・手帳・サービス利用につなげることができ、地域生活を継続支援した。</p> ・意思疎通支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 手話通訳派遣旅費 9回（1人） 26,862円 <p>聴覚障がい者が、社会参加や病院受診の際などに、コミュニケーション手段をサポートし、活動の幅が広がり、地域での暮らしを支援した。</p> ・日常生活用具給付事業 <ul style="list-style-type: none"> 蓄便袋・蓄尿袋・紙おむつ他 685件（80人） 6,754,380円 ・移動支援事業 12回（1人） 71,910円 ・訪問入浴サービス事業 101回（1人） 1,145,790円 ・日中一時支援事業 委託料（28人） 3,997,600円 ・芸術文化活動振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ふれあい芸能文化発表会補助金 100,000円 ・声の広報等発行事業 <ul style="list-style-type: none"> 声の広報等発行補助金 2団体 60,000円 ・償還金利子及び割引料 177,000円 ・事務経費（需用費、役務費） 150,295円 <p>障がい者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、ストーマ装具等の日常生活用具等給付事業や、家族及び介護者の一時的な負担軽減を図る日中一時支援事業を中心に行っており、地域福祉の増進と在宅生活を支援した。</p>
			○障害者自立支援給付費 障害者総合支援法に基づき身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及び難病患者等の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	○障害者自立支援給付費 ・障害福祉サービス費の支給 扶助費 (209人) 521,617,992円 ・障害児通所給付費の支給 扶助費 (19人) 28,163,885円 ・補装用具費（交付・修理）の支給 扶助費 (35件) 2,099,126円	584,334,093円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援医療費（更生、育成医療）の支給 <ul style="list-style-type: none"> 更生医療扶助費 (35人) 18,751,332円 育成医療扶助費 (6人) 312,691円 療養介護医療扶助費 (4人) 3,095,423円 役務費 882,857円 ・償還金利子及び割引料 9,410,787円 <p>ホームヘルプや通所サービスの利用により、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援した。 また、就労系サービスの利用により、一般企業への就労や生産活動を通して雇用への移行を支援した。 自立支援医療費の支給は、障がい者の医療費の負担軽減が図られ、さらに補装具の購入・修理時には経済的負担が軽減され自立した生活を支援した。</p>
				○難聴児補聴器購入費助成事業費 身体障害者手帳の交付対象にならない軽、中度の難聴児を対象として、補聴器購入費を助成する。	○難聴児補聴器購入費助成事業費 112,148円 ・補聴器購入費の助成 1人 補聴器を装用することにより言語の習得が可能になる等、障がい児の学習面における福祉の向上に寄与した。
				○人工透析通院費支給事業費 腎臓機能に障がいをもつ方が、人工透析治療を受けるため居住地から医療機関への通院に要した交通費の一部を助成する。	○人工透析通院費支給事業費 1,677,950円 ・人工透析通院費の支給 36人 1,677,950円 腎臓機能障害により人工透析を受けている方の通院費を助成することにより、経済的支援及び確実な治療の継続に寄与した。
				○障がい者（児）タクシー利用券給付事業費 仙北市に住所を有する重度身体障がい者（児）、知的障がい者（児）、精神障がい者（児）及び難病患者（特定医療費（指定難病）受給者）の生活圏の拡大を図るとともに、社会参加を促進し福祉の増進を図るため、タクシーの利用料金の一部を助成する。（ただし、在宅の障がい者を対象とすることから社会福祉施設入所者は除く。）	○障がい者（児）タクシー利用券給付事業費 1,884,500円 ・タクシー利用券の給付 186人 1,835,000円 ・タクシー利用券偽造防止用紙 49,500円 15,000円のタクシー利用券を乗車料金の範囲内で自由に利用できるものであり、障がい者の外出における利便性の向上に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○障害者通所施設等交通費助成金交付事業費 障害がい者施設等に通所する障がい者又はその介護者の経済的負担の軽減のため、通所に要する交通費の一部を助成する。	○障害者通所施設等交通費助成金交付事業費 549,700円 ・交通費の助成 14人 障害がい者施設等に通所する障がい者またはその介護者の経済的負担を軽減させることにより、障がい者施設等の利用を促進し、障がい者福祉の向上に寄与した。
				○障害者自動車運転免許取得助成金 障害がい者が自立した生活、社会活動への参加及び就労に伴い、自動車運転免許を取得する場合に、その取得に要する費用の一部を助成する。	○障害者自動車運転免許取得助成金 200,000円 ・自動車運転免許取得費の助成 2人 運転免許を取得した障がい者に対し、その取得費の一部を助成することで、経済的負担を軽減させ、自立した生活、社会活動への参加及び就労の促進に寄与した。
				○身体障害者用自動車改造費助成金 重度身体障害者が自立した生活、社会活動への参加及び就労に伴い、自らが所有し運転する自動車を改造する場合に、その改造に要する費用の一部を助成する。	○身体障害者用自動車改造費助成金 100,000円 ・自動車運転免許取得費の助成 1人 運転免許を取得した障がい者に対し、その取得費の一部を助成することで、経済的負担を軽減させ、自立した生活、社会活動への参加及び就労の促進に寄与した。
				○敬老祝い金支給事業費 傘寿及び百寿の祝い金支給	○敬老祝い金支給事業費 3,739,225 円 ・報償費 3,665,000 円 お祝い金対象者 80歳(9/15基準) 333人 × 5,000円 = 1,665,000円 100歳(誕生日基準) 20人 × 100,000円 = 2,000,000円
				○緊急通報装置給付・貸付事業費 緊急時に通報できるシステムの「ふれあい安心電話」の貸付	○緊急通報装置給付・貸付事業費 2,205,000円 委託料(仙北市社会福祉協議会) 2,145,600円 設置 32台 (新設 3件・撤去 6件) 59,400円 緊急時の対応や、協力者への通報などを行うことにより、1人暮らし高齢者等の不安等解消につながっている。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○高齢者共同生活（相互援助ホーム）支援事業費 11月から4月までの期間、施設での生活支援事業	○高齢者共同生活（相互援助ホーム）支援事業費 3,001,715 円 委託料(社会福祉法人県南ふくし会) 延べ利用日数 783 日 実利用者数 7 人 冬期間、自宅で生活することが困難な高齢者等が一時的に共同生活を送ることにより、日常生活の安定が図られ、在宅生活の継続ができています。
				○地域の輝き表彰事業費 明るい社会づくりや老人福祉の向上に功績のあった地域の中で、きらりと輝く高齢者を表彰する。	○地域の輝き表彰事業費 62,572 円 被表彰者 2 人 地域や高齢者のために活動を行ってきた高齢者を表彰することで、生きがいを作り、社会参加を促進することに貢献できた。
				○高齢者世帯等除雪支援事業費 除雪支援要件に該当する高齢者世帯等に対し、除排雪や雪下ろしに係る費用の一部を助成する。	○高齢者世帯等除雪支援事業費 10,764,860 円 ・住宅前除雪事業 330 件 6,301,000 円 ・住宅屋根雪下ろし事業 274 件 4,035,000 円 除排雪を行うことができない高齢者などが助成券を使用することにより、冬期間の除排雪等の不安解消につながっている。
				○介護タクシー利用助成事業費 在宅の要介護認定者（要介護度3～5）がケアプラン外となる医療機関への緊急の入退院や通院等の際に、市内事業者が運営する介護タクシーを利用した際の費用額の半額を助成する。	○介護タクシー利用助成事業費 252,862 円 介護タクシー利用 延べ利用回数 38 回 家族での移送が困難な要介護認定者に対し、介護タクシーの利用を助成することにより在宅生活の継続及び家族の負担軽減に役立っている。
				○大曲仙北広域市町村圏組合介護保険費負担金	○大曲仙北広域市町村圏組合介護保険費負担金 597,246,000 円
				○老人クラブ補助金	○老人クラブ補助金 2,827,464 円 ・仙北市老人クラブ連合会活動費 1,290,984 円 ・単位老人クラブ活動費(33 団体) 1,536,480 円 老人クラブへ補助金を支給することにより、クラブ活動を通じ高齢者の社会参加や、生きがい、健康づくり等の推進を図った。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○地域密着型サービス施設等整備事業費補助金 仙北市高齢者福祉計画に基づく介護施設等の整備事業を助成する。	○地域密着型サービス施設等整備事業費補助金 33,600,000円 認知症高齢者グループホームの建設に係る事業費を助成し、受入環境の整備に貢献した。
				○介護施設開設準備経費等支援事業費補助金 仙北市高齢者福祉計画に基づく介護施設等の整備事業を助成する。	○介護施設開設準備経費等支援事業費補助金 7,551,000円 認知症高齢者グループホームの開設に係る準備経費を助成し、受入環境の整備に貢献した。
				○生きがい活動通所支援事業費 高齢者の方が長年住み慣れた地域で生活を維持することができるようにするため、多世代交流施設を活用して通所事業を実施する。	○生きがい活動通所支援事業費 5,244,810円 延べ利用者数 571人 介護保険法によるサービスを受けられない方に対して、住み慣れた地域で生活維持を図ることに貢献できた。
				○福祉医療費 仙北市に在住する乳幼児及び小・中学生、ひとり親家庭の児童、高齢身体障害者、重度心身障害（児）者の医療費の自己負担分を助成する。（乳幼児及び小・中学生の区分は、0歳児及び市民税所得割非課税世帯は自己負担なし、市民税所得割課税世帯は自己負担上限千円/レセプト）	○福祉医療費 186,201,882円 ・乳幼児・小中学生 33,618,582円 ・ひとり親家庭 8,186,273円 ・高齢身体障害者 39,210,120円 ・重度心身障害（児）者 120,757,164円 ・福祉医療高額療養費戻入金(国保分) △ 15,570,257円 福祉医療費の助成は、乳幼児及び小・中学生、ひとり親家庭の児童、高齢身体障害者、重度心身障害（児）者の健康保持と生活安定を図るための重要な施策であり、引き続き実施していく。
				○福祉医療事務費 福祉医療費の助成を円滑に進める。	○福祉医療事務費 3,524,139円 ・審査支払手数料 2,947,904円 ・郵便料(後納+切手) 196,329円 ・福祉医療事務費 167,620円 ・県補助金過年度返還金 212,286円 福祉医療費の助成を円滑に進めることができた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○任意事業費 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう地域包括ケアシステムの構築を進める。介護保険事業運営の安定を図るとともに、介護者等に対し必要な支援を行う。</p>	<p>○任意事業費 4,737,674 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族介護支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 家族介護教室 1回開催 8人 家族介護者交流事業 1回開催 8人 ・住宅改修支援事業理由書作成手数料助成 1件 ・認知症高齢者地域支援事業SOSメール実績 1件(継続) ・認知症サポーター等養成事業 <ul style="list-style-type: none"> 小中学校関係受講者 360人 一般受講者 81人 <p>市内全域の小中学校11に資料、缶バッジ等を配布し認知症の普及啓発した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターステップアップ講座 17人 ・キャラバンメイト研修会 9人 ・配食サービス事業利用者 211人 延べ 3,930食 <p>見守りを要する高齢者の実態把握や定期的な安否確認が行われた。</p>
				<p>○予防ケアプラン作成事業費 介護予防・生活支援サービス及び介護予防サービス利用者に対し、自立した生活が送れるように本人の目標達成に向けて支援を行う。</p>	<p>○予防ケアプラン作成事業費 7,544,728 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防ケアプラン作成件数 1,580件 <p>介護を予防し、地域において自立した日常生活を送れるよう支援した。</p>
				<p>○介護予防・日常生活支援総合事業費 要支援認定者及び事業対象者を対象とした介護予防・生活支援サービス事業を行う。 65歳以上を対象とした介護予防の教室や介護事業所を対象とした講座を行う。</p>	<p>○介護予防・日常生活支援総合事業費 13,111,101円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期集中予防サービス 通所型サービスC 利用者なし ・介護予防ケアマネジメント <ul style="list-style-type: none"> 介護予防ケアマネジメント作成件数 2,433件 事業対象者支援 570件 ・運動器の機能向上事業 <ul style="list-style-type: none"> 浮き浮き教室 27回開催 延べ 192人 ・介護予防普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> 元気まるごと教室 27回開催 延べ 166人

予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	事業の概要	
				計画	実績及び効果
円	円	円	円		
					<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリテーション活動支援事業 研修会開催 3回 開催 延べ 13人 各種介護予防教室の実施により、住民の介護予防への意識付けや予防活動の実践につなげることができた。
				<ul style="list-style-type: none"> ○包括的支援事業費 高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続していくため「地域包括ケアシステム」の構築に向けて医療と介護の連携、生活支援整備、認知症施策推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○包括的支援事業費 14,825,527円 ・総合相談支援事業・権利擁護事業 総合相談件数 1,846 件 成年後見制度相談件数 33 件 高齢者虐待相談件数 62 件 (うち虐待認定 2 件) ・包括的・継続的ケアマネジメント事業 ケアマネネット研修会 2回開催 延べ75人 在宅・施設サービス部会議員会 7回開催 延べ119人 ・在宅医療・介護連携推進事業 27回 推進協議会 2回 開催 (うち書面開催1回) ・地域ケア会議推進事業 個別ケア会議 6回 地域ケア推進会議 2回 自立支援型ケア会議 3回 ・生活支援体制整備事業 〈第1層〉市内全体 生活支援コーディネーター 2人 配置 協議体会議 2回 開催 担い手養成講座 1回 開催 17人 担い手フォローアップ研修会 1回 開催 17人 〈第2層〉田沢湖・角館・西木地区 生活支援コーディネーター 7人 配置 地区別協議体会議 2回 開催 ・認知症初期集中支援事業 認知症施策検討委員会 2回 開催 ・認知症地域支援・ケア向上事業 認知症地域支援推進員 3人 配置 認知症カフェ懇談会実施

予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	事業の概要	
				計画	実績及び効果
円	円	円	円		
					総合相談については、専門職で検討し対応している。 認知症等により判断能力が不十分な高齢者の成年後見人制度利用については、家庭裁判所や病院と連携を図っている。 虐待対応では、対象者の措置施設への分離及び家族への介入により、高齢者が安心して生活できる状況を確認している。
				○後期高齢者医療短期人間ドック助成費 後期高齢者医療被保険者の人間ドックに係る費用の一部を助成する。(上限21,000円)	○後期高齢者医療短期人間ドック助成費 910,800円 ・人間ドック受診者数 44人 ・助成費内訳 (@21,000円×42人、@19,400円×1人、@9,400円×1人) 令和2年度：実績 42人、令和3年度：実績 44人と目標とする50人に近づいてきていることから、より一層の周知活動を展開していく。

3 款 民 生 費 2 項 児 童 福 祉 費

予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	事業の概要	
				計画	実績及び効果
円	円	円	円		
2,016,689,000	1,876,376,308	803,000	139,509,692	○ひとり親家庭福祉事業費 ひとり親家庭の相談指導、子育て・生活の支援、資金の貸付	○ひとり親家庭福祉事業費 3,071,483円 ・母子・父子自立支援員報酬・費用弁償、消耗品費等 世帯数 348世帯(母子298、父子50) ・ひとり親家庭の相談件数 56 件 ・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金 0件 0円 ・令和2年度分母子家庭等対策総合支援事業国庫補助金返還金 750,000円 ひとり親家庭の親や子供の悩み、就学、就職、経済的自立などの相談に母子・父子自立支援員が応じ、生活の不安解消や自立のための指導を行っている。
				○家庭児童相談事業費 子どもの養育に関する悩みや心配ごとなどの相談指導	○家庭児童相談事業費 2,912,408円 ・家庭相談員報酬(1名)・費用弁償、消耗品費等 ・相談件数 125 件 家庭相談員は児童の心身の健やかな成長のため、きめ細かな指導を行っている。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○要保護児童対策事業費 虐待を受けている子どもを始めとする要保護児童やその家族、特定妊婦の早期発見や適切な支援・保護を図るため、関係機関がその子ども等に関する情報や考え方を共有し、連携していくための「要保護児童対策地域協議会」を運営していく。</p>	<p>○要保護児童対策事業費 162,212円 要保護児童対策地域協議会各会議開催回数 ・代表者会議…1回 ・実務者会議…3回 ・個別ケース検討会議…9回 要保護児童対策地域協議会名簿登録人数(R4.3.31現在) ・在宅児童…29人 ・施設入所児童…10人 ・特定妊婦…2人 特に注意を必要とする家庭を支援するために継続的に連絡・訪問や見守りを行っているため、重大な事態は防げている。</p>
				<p>○在宅子育てサポート事業費 在宅で就学前児童を子育てしている家庭に対し、市が指定する有料の子育て関連サービスに充当できるサポート券(1万5千円相当)を交付する。</p>	<p>○在宅子育てサポート事業費 855,310円 ・事業に係る事務的経費 101,310円 ・サポート券精算額 754,000円 サポート券交付件数 53件 795,000円相当 在宅で小学校就学前児童の子育てを行っている家庭を経済的に支援することで、児童福祉の向上を図ることができた。</p>
				<p>○誕生祝支給事業費 次代を担う子どもの誕生を祝福し、健やかな成長を願い、誕生児童一人につき5万円の祝金を支給する。</p>	<p>○誕生祝支給事業費 3,957,000円 ・事業に係る事務的経費 7,000円 ・祝金支給額 79件 3,950,000円 市から誕生を祝福されることで、健やかな成長と次代を担う人材となって欲しいとの願いを感じてもらうことができた。</p>
				<p>○療育訓練事業費 発達に不安があったり、友達と遊ぶことが苦手な幼児とその保護者に対する療育訓練を実施する。</p>	<p>○療育訓練事業費 271,437円 訓練回数 16回</p>
				<p>○子育てファミリー支援事業費 H30.4.2以降に第3子以降の子が生まれ、かつ、その子を含む3人以上の子を養育する世帯に対し、市が指定する有料の子育て関連サービスに充当出来るサポート券(1万5千円相当)を交付する。</p>	<p>○子育てファミリー支援事業費 699,860円 ・事業に係る事務的経費 47,360円 ・サポート券精算額 652,500円 ※サポート券交付件数 48件 720,000円相当 H30.4.2以降に第3子以降の子が生まれ、かつ、その子を含む3人以上の子を養育する家庭を経済的に支援することで、児童福祉の向上を図ることができた。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○幼児教育推進事業費 幼児教育推進体制を構築するため、教育・保育アドバイザーを配置する。	○幼児教育推進事業費 157,693円 訪問回数 226回 研修会 8回 保育者の資質向上や研修に向かう意識が高まるなどの成果がみられた。また、保育園・認定こども園と小学校の連携体制の強化を図ることができた。
				○子ども家庭総合支援拠点運営事業費 市は子どもの最も身近な場所における子どもとその家庭及び妊産婦の福祉に関する支援業務を適切に行うため、継続的なソーシャルワーク業務を担う。	○子ども家庭総合支援拠点運営事業費 421,828円 ・令和3年4月1日に仙北市子ども家庭総合支援拠点を開設。 関係機関との連携のため以下の会議を開催。 ・子育て支援等に関する連携会議…子育て世代包括支援センターと月1回、R3年度は11回開催 ・就学前児童に関する支援機関連携会議…就学前施設・北浦教育文化研究所・支援拠点との三者会議を3カ月に1回、R3年度は4回開催。 相談件数（実件数・延べ件数） ・新規相談…（63件・359件） ・継続相談…（64件・695件） ・特定妊婦…（5件…44件） 相談内容に応じて必要な機関と連携しながら、子どものいる家庭の困り事について総合的に関わった。また、相談窓口を通して育児に関するトレーニングによる問題解決への指導も行った。
				○子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯に対し、高校生以下の児童1人あたり合計10万円（先行給付5万円、追加給付5万円）を給付する事業。令和3年9月30日を基準日として親の住所地で支給する。（所得制限有り。令和4年3月31日生まれの児童まで対象）	○子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費 279,215,750円 ・子育て世帯への臨時特別給付金 276,100,000円 支給実績 2,761人 ・子育て世帯への臨時特別給付金事務費 2,737,750円 ・令和2年度子育て世帯への臨時特別給付金事業事務費補助金返還金 378,000円 国の予算で行う事業。児童手当受給世帯1,129件、公務員世帯220件、高校生世帯513件、新生児世帯20件の合計1,882世帯に対し給付を行い経済的支援を図った。児童手当世帯へは12月に先行給付、1月に追加給付を分けて支給し、その他の世帯には一括で10万円を支給した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																						
				計画	実績及び効果																																					
				<p>○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、経済的負担の増加や収入の減少が見込まれるひとり親世帯に対し、児童1人あたり5万円を支給する事業。①令和3年4月分の児童扶養手当受給者の他に②公的年金受給者や③家計急変者が対象。</p>	<p>○子育て世帯生活支援臨時特別給付金給付事業 17,391,383円</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとり親世帯臨時特別給付金 15,500,000円 児童1人あたり5万円を支給 第1子 228件 11,400,000円 第2子以降 82件 4,100,000円 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事務費 支給に関する事務的経費 1,891,383円 <p>①211世帯、②9世帯、③8世帯に対し給付を行い経済的支援を図った。①は手続き不要の積極支給により早期に給付することができた。</p>																																					
			<p>○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（ひとり親世帯以外分）</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、経済的負担の増加が見込まれる高校3年生以下（令和3年4月1日時点の18歳未満の児童及び障害のある20歳未満の児童）を養育する子育て世帯のうち、令和3年度市民税均等割が非課税の保護者に対し、対象児童1人あたり5万円を給付する事業。</p>	<p>○子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（ひとり親世帯以外分） 12,219,779円</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯生活支援特別給付金 9,350,000円 支給対象児童数 187人 支給に係る事務的経費 2,869,779円 <p>非課税の児童手当受給世帯89件、高校生世帯14件、特別児童扶養手当受給世帯5件、公務員世帯1件の計109世帯に給付することで経済的支援を図った。児童手当や特別児童扶養手当受給者については、手続き不要の積極支給を行うことで手続きの負担を軽減した。</p>																																						
			<p>○児童手当給付費</p> <p>次世代の社会を担う児童1人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から、中学校修了までの児童を養育する者に支給する手当</p>	<p>○児童手当給付費 243,130,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>延べ人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">0歳から 3歳未満</td> <td>被用者</td> <td>2,117人</td> <td>31,755,000円</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>440人</td> <td>6,600,000円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>26人</td> <td>130,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3歳以上 小学校修了前</td> <td>被用者</td> <td>11,403人</td> <td>120,400,000円</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>2,223人</td> <td>23,805,000円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>242人</td> <td>1,210,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">小学校修了後 中学校修了前</td> <td>被用者</td> <td>4,999人</td> <td>49,990,000円</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>899人</td> <td>8,990,000円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>50人</td> <td>250,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>22,399人</td> <td>243,130,000円</td> </tr> </tbody> </table>	区分		延べ人数	金額	0歳から 3歳未満	被用者	2,117人	31,755,000円	非被用者	440人	6,600,000円	特例給付	26人	130,000円	3歳以上 小学校修了前	被用者	11,403人	120,400,000円	非被用者	2,223人	23,805,000円	特例給付	242人	1,210,000円	小学校修了後 中学校修了前	被用者	4,999人	49,990,000円	非被用者	899人	8,990,000円	特例給付	50人	250,000円	合計		22,399人	243,130,000円
区分		延べ人数	金額																																							
0歳から 3歳未満	被用者	2,117人	31,755,000円																																							
	非被用者	440人	6,600,000円																																							
	特例給付	26人	130,000円																																							
3歳以上 小学校修了前	被用者	11,403人	120,400,000円																																							
	非被用者	2,223人	23,805,000円																																							
	特例給付	242人	1,210,000円																																							
小学校修了後 中学校修了前	被用者	4,999人	49,990,000円																																							
	非被用者	899人	8,990,000円																																							
	特例給付	50人	250,000円																																							
合計		22,399人	243,130,000円																																							

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																																																																																				
				計画	実績及び効果																																																																																																			
					児童を養育している方に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。																																																																																																			
				○児童扶養手当給付費 18歳未満の児童を養育している父母、または、父母にかわって児童を養育している者に支給する手当	○児童扶養手当給付費 105,029,130円 全部支給者延べ月人数 1,226人 一部支給者延べ月人数 1,378人 2子加算延べ月人数 805人 3子以降加算延べ月人数 125人 ひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることができた。																																																																																																			
				○児童館及び児童遊園地施設維持管理費 児童に安全で安心な活動場所として児童館及び児童遊園地を設置する。	○児童館及び児童遊園地施設維持管理費 2,652,912円 児童館及び児童公園を適切に管理し、児童に安心して活動できる場を提供することができた。																																																																																																			
				○認可保育園等管理費 ○認可保育園等運営費 ○給食業務委託事業費 ○子ども・子育て支援事業費 ・市立教育・保育施設 施設において集団で教育・保育を行い、子育てを支援する。 【対象施設】 角館こども園、白岩小百合保育園、角館西保育園、中川保育園	○認可保育園等管理費 25,076,668円 市立4園の施設設備に係る管理経費 ○認可保育園等運営費 5,570,165円 市立4園の保育業務に係る運営経費 ○給食業務委託事業費 43,944,711円 角館地区の給食業務委託費 ○子ども・子育て支援事業費 43,273,649円 田沢湖地区2園、西木地区2園の一時預かり事業委託費 令和4年3月 入所児童数 (人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>※だ</th> <th>※神</th> <th>角</th> <th>白</th> <th>西</th> <th>中</th> <th>※に</th> <th>※ひ</th> <th>広城</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>1歳</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>24</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>2歳</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>28</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>3歳</td> <td>22</td> <td>14</td> <td>29</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>4歳</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>36</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>5歳</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>42</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>114</td> <td>98</td> <td>170</td> <td>38</td> <td>33</td> <td>16</td> <td>74</td> <td>29</td> <td>10</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>127</td> <td>109</td> <td>214</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>45</td> <td>84</td> <td>30</td> <td></td> <td>729</td> </tr> </tbody> </table>		※だ	※神	角	白	西	中	※に	※ひ	広城	計	0歳	12	10	11	4	3	1	8	4	6	59	1歳	9	12	24	4	5	2	8	3	1	68	2歳	18	16	28	6	8	2	9	5	1	93	3歳	22	14	29	9	6	2	16	4	0	102	4歳	22	19	36	9	4	3	18	4	1	116	5歳	31	27	42	6	7	6	15	9	1	144	計	114	98	170	38	33	16	74	29	10	582	定員	127	109	214	60	60	45	84	30		729
	※だ	※神	角	白	西	中	※に	※ひ	広城	計																																																																																														
0歳	12	10	11	4	3	1	8	4	6	59																																																																																														
1歳	9	12	24	4	5	2	8	3	1	68																																																																																														
2歳	18	16	28	6	8	2	9	5	1	93																																																																																														
3歳	22	14	29	9	6	2	16	4	0	102																																																																																														
4歳	22	19	36	9	4	3	18	4	1	116																																																																																														
5歳	31	27	42	6	7	6	15	9	1	144																																																																																														
計	114	98	170	38	33	16	74	29	10	582																																																																																														
定員	127	109	214	60	60	45	84	30		729																																																																																														

※だしのご園、神代こども園、にこにここども園、ひのきないこども園は、法人の参考値

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<ul style="list-style-type: none"> 一時保育 家庭の事情による一時的な保育需要に対応して児童を預かる。 子育て支援拠点事業 児童及びその保護者の相互交流や、相談活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一時保育利用児童数（延べ人数） ※だしのこ園 5人(13人)※神代こども園 6人(15人) ※角館こども園 9人(26人) ※にこにここども園1人(1人) ※ひのきないこども園0人(0人) 一時的な保育需要等に対応して保育することにより、子育て家庭の支援を行うことができた。 ※だしのこ園、神代こども園、にこにここども園、ひのきないこども園は、法人に委託して実施。 子育て支援拠点による交流ひろば実施回数（相談件数） ※だしのこ園 48回（0件） ※神代こども園 25回（0件） ※角館こども園 14回（9件） ※にこにここども園 22回（3件） ※ひのきないこども園 23回（3件） 子育て支援施設（さくらっこ） 129回（7件） ※だしのこ園、神代こども園、にこにここども園、ひのきないこども園は、法人の自主事業の参考値。児童及び保護者の相互交流図ることができた。
				○すこやか子育て保育料助成事業費 私立認定こども園、認可保育所、幼稚園、認可外保育所、地域型保育事業の利用者に対して保育料を助成する。	○すこやか子育て保育料助成事業費 17,893,725円 実人数 576人 保育料・副食費を県と共同で助成することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援を図ることができた。
				○放課後児童対策事業費 昼間労働等の都合で家庭に保護者のいない小学校児童に対し、遊びや生活の場を与えるため、放課後児童クラブを設置する。	○放課後児童対策事業費 91,677,842円 放課後児童健全育成事業に係る経費 9,945,102円 放課後児童クラブ支援員賃金等 81,732,740円 ・利用児童数（平均実利用児童数） 白樺児童会（生保内小学校内） 46人 ポプラ学園（神代小学校内） 38人 かくのだて児童クラブ（角館児童館内） 38人 かしわっこクラブ（白岩小学校内） 15人 マロンクラブ（JA大豆総合センター内） 41人 ひのきっこクラブ（桧木内小学校内） 24人 中川っ子クラブ（中川コミュニティーセンター内） 7人 (※月利用児童数÷開所日数)

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					昼間労働等で保護者のいない家庭を支援し、児童に健全な生活の場を提供することができた。

3 款 民 生 費 3 項 生 活 保 護 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
529,940,000	494,433,386	0	35,506,614	○生活保護費 被保護者に対し、生活の困窮に応じ必要な保護を行い、その最低生活を保障するとともに、自立助長を図る。	○生活保護費 471,769,427円 ・生活扶助費 138,939,114円 ・住宅扶助費 46,496,712円 ・教育扶助費 610,085円 ・介護扶助費 19,215,998円 ・医療扶助費 246,991,247円 ・生業扶助費 849,844円 ・葬祭扶助費 2,339,307円 ・就労自立給付金 225,218円 ・施設事務費 15,774,320円 ・生活扶助費戻入金 327,582円 月平均で289世帯、379人に対し、生活扶助や医療扶助など必要な保護を行い、最低生活を保障するとともに、就労支援により自立を促進し保護からの脱却を図ることができた。

4 款 衛 生 費 1 項 保 健 衛 生 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
868,691,000	765,646,898	0	103,044,102	○母子保健対策費 健康な母体づくりを目的に、定期的な健康相談の推進、さらに乳幼児の健全な成長に資する事業を実施する。	○母子保健対策費 11,683,525円 ・妊産婦一般健康診査（延べ人数） 1,115 人 ・妊婦歯科健康診査 35 人 ・乳児健康診査（延べ人数） 144 人 ・1歳6ヵ月児健康診査 93 人 ・2歳6ヵ月児歯科健診 88 人 ・3歳児健康診査 86 人

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> ・乳児訪問 89人 <p>妊娠から乳幼児健診までの子どもと母親及び家族への支援体制を整えている。福祉事務所等関係機関との連携で健診後のフォローにもつなげている。</p>
				<p>○心の健康づくり・自殺予防対策事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が健康で生き生きと暮らせる活力ある社会を築いていけるよう自殺対策を総合的に推進することにより、自殺の防止と心の健康づくり支援の充実を図る。 ・いのち輝く仙北市の実現を目指して、自殺予防対策計画を基に総合的に対策を推進し、自殺防止と心の健康づくり支援の充実を図る。 	<p>○心の健康づくり・自殺予防対策事業費 2,236,644円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑いでいきがづくり教室 3回 42人 ・こころの相談 91回 24人 ・えくぼの会、かだれの会（傾聴活動） 22回 154人 ・笑いの会 5回 105人 ・こころのゲートキーパー養成講座 6回 92人 ・こころのゲートキーパーフォローアップ講座 1回 15人 ・居場所づくりセミナー 1回 10人 ・地区会館での健康教育 66回 565人 ・学生への啓発グッズ、リーフレットの配布 2回 885人 ・街頭キャンペーン（パンフレット等配布） 5カ所 599人 ・自殺未遂者支援職員研修 1回 8人 ・自殺対策推進協議会（書面会議） 1回 36人 <p>自殺は予防可能な死因であり、啓発活動の効果として自殺予防についての理解が深まっている。また、住民同士で相談先を紹介するなど意識付けが定着しつつある。R3年度市役所職員新任期を対象とした研修を実施し、相談対応のスキル向上を図った。</p>
				<p>○安心子育て応援事業費</p> <p>妊娠期からの切れ目ない支援として子育て世代包括支援センター（仙北市版ネウボラ「なないろ」）において、相談等の個別の支援や各種教室等で参加者同士の交流を図る。</p>	<p>○安心子育て応援事業費 4,203,134円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラン作成件数 153件 ・乳児離乳食教室 9回 65人 ・1歳3か月児健康相談 11回 85人 ・こんにちは赤ちゃん教室 6回 31人 ・ママと赤ちゃんのふれあい講座 10回 76人 <p>個別に相談できる体制を整え、妊娠期の早期から子育て期まで対応出来るようになっている。各教室では交流できる時間を設け、参加者同士が知り合える機会となった。</p>
				<p>○歯と口腔の健康づくり推進事業費</p> <p>幼児から小中学生の虫歯予防を目指し、フッ化物洗口事業を実施する。</p>	<p>○歯と口腔の健康づくり推進事業費 995,396円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児歯科フッ化物塗布 45人 ・2歳6ヵ月児歯科健康教室 88人 ・巡回歯科指導（保育園、認定こども園） 142人 ・フッ化物洗口実施者数 1,620人

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																					
				計画	実績及び効果																				
					年長児、小・中学生の希望者を対象にフッ化物洗口を継続実施し、う歯予防のほか児童生徒の健康意識の向上に寄与した。																				
				<p>○予防事業費</p> <p>予防接種法に基づき、各種予防接種を行い免疫の確保と疾病を予防する。 令和元年度から令和3年度にかけ、緊急風しん対策事業として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に風しんの抗体検査を実施し、抗体価の低い者に対し定期の予防接種を実施する。</p>	<p>○予防事業費 35,729,737円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本脳炎予防接種(延べ人数) 331 人 ・高齢者インフルエンザ予防接種 5,786 人 ・麻しん、風しん予防接種(延べ人数) 227 人 ・二種混合予防接種(延べ人数) 149 人 ・BCG予防接種 72 人 ・四種混合予防接種(延べ人数) 297 人 ・高齢者肺炎球菌予防接種 330 人 ・大人の風しん予防接種 15 人 ・ヒブ予防接種 316 人 ・小児用肺炎球菌予防接種 310 人 ・水痘予防接種 168 人 ・B型肝炎予防接種 222 人 ・ロタウイルス予防接種 174 人 ・ヒトパピローマウイルス予防接種 58 人 ・おたふくかぜ予防接種 152 人 ・若年者等インフルエンザ予防接種 2,142 人 ・妊婦インフルエンザ予防接種 13 人 ・緊急風しん対策(抗体検査) 77 人 ・ " (予防接種) 19 人 <p>感染症の蔓延防止につながっており、身体への負担と経済的負担の軽減となった。</p>																				
				<p>○健康増進事業費</p> <p>・各種健(検)診</p> <p>高齢化社会の中で、疾病予防や健康づくりのほか、保健指導や食生活改善等一貫した保健サービスの確立を目指し実施する。</p>	<p>○健康増進事業費 22,689,391円</p> <p>・各種健(検)診</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">一般健診</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">40人</td> <td style="width: 30%;">胃がん検診</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1,117人</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td style="text-align: right;">1,236人</td> <td>子宮がん検診</td> <td style="text-align: right;">399人</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td style="text-align: right;">422人</td> <td>前立腺がん検診</td> <td style="text-align: right;">963人</td> </tr> <tr> <td>骨粗しょう症検診</td> <td style="text-align: right;">121人</td> <td>肝炎ウィルス検診</td> <td style="text-align: right;">86人</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td style="text-align: right;">2,596人</td> <td>歯周疾患検診</td> <td style="text-align: right;">25人</td> </tr> </table>	一般健診	40人	胃がん検診	1,117人	大腸がん検診	1,236人	子宮がん検診	399人	乳がん検診	422人	前立腺がん検診	963人	骨粗しょう症検診	121人	肝炎ウィルス検診	86人	肺がん検診	2,596人	歯周疾患検診	25人
一般健診	40人	胃がん検診	1,117人																						
大腸がん検診	1,236人	子宮がん検診	399人																						
乳がん検診	422人	前立腺がん検診	963人																						
骨粗しょう症検診	121人	肝炎ウィルス検診	86人																						
肺がん検診	2,596人	歯周疾患検診	25人																						

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>・健康づくり人材育成事業 市民が自ら健康づくりに取り組み、その知識や方法を家族や地域に波及させることを目的として実施。</p>	<p>・健康づくり人材育成事業 せんぼく元気はつらつ隊研修会 11回 延べ147人 せんぼく元気はつらつ隊認定者 2人</p>
			<p>○大腸がん予防事業費 日本医療研究開発機構の研究事業である大腸がん検診の研究（比較試験）に参画する中で、仙北市における大腸がんによる死亡者の撲滅を目指す。</p>	<p>○大腸がん予防事業費 4,992,710円 ・受診者数 2,048人 リクルート終了後、人口動態により対象者は減っているものの、受診勧奨により一定した受診率を保っている。</p>	
			<p>○浄化槽設置整備事業費 循環型社会形成推進地域計画に基づき浄化槽整備を実施する。 ・循環型社会形成推進交付金（個人設置型合併浄化槽） 5人槽 22基 7人槽 6基 計 28基 ・単独 5人槽 なし 7人槽 なし</p>	<p>○浄化槽設置整備事業費 11,790,000円 ・循環型社会形成推進交付金 10,390,000円 5人槽 22基 (352,000円×22基=7,744,000円) 7人槽 6基 (441,000円×6基=2,646,000円) 計 28基 10,390,000円 (財源内訳) 国費 3,698千円 県費 3,463千円 市費 3,229千円 計 10,390千円 ・単独分 1,400,000円 嵩上げ補助 (50,000円×28基=1,400,000円) 集合処理区域外で、浄化槽の普及率の向上を目的に雑排水対策を推進し、環境保全に寄与した。</p>	
			<p>○不法投棄監視費 市内各地に不法投棄されるごみの対策として、監視員を配置し巡回パトロールを行う。また、不法投棄禁止の看板設置により、環境美化の意識高揚を図る。</p>	<p>○不法投棄監視費 412,315円 ・回収量等 10箇所 950kg タイヤ 34本 (重さには含まない) 不法投棄監視員の巡回を3地区各1名ずつで行った。市内及び山間部等に不法投棄されたごみを発見し、本人確認できるものがあれば警察へ届け、そうでないものは市で回収・処理を行った。</p>	

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○歯科診療所管理運営費 市民の歯科衛生の向上を目指し、歯科診療・健診業務を行う。</p>	<p>○歯科診療所管理運営費 36,663,768円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診察日数 224 日 ・患者数(延べ) 5,857 人 ・1日当たり患者数 26.14 人 ・患者1人当たり費用額 9,246.96 円 <p>毎週木曜日の夕暮れ診療をはじめ、患者に配慮した診療を行い、新しい技術の導入により支持を得ている。</p>
				<p>○西明寺診療所管理運営費 市民の疾病の予防と治療に努め、健康の保持増進を図る。</p>	<p>○西明寺診療所管理運営費 27,950,904円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西明寺診療所 診療日数 235日 患者数 10,737人 1日平均 45.7人 ・桜木内診療所 診療日数 49日 患者数 200人 1日平均 4.1人 ・清流苑 診療日数 44日 患者数 1,089人 1日平均 24.8人 <p>日常の診療、往診、在宅医療、住民健診、予防接種などを継続し、へき地診療所として地域医療に貢献している。</p>
				<p>○市民浴場管理運営費 温泉を利用した市民の憩いと心身の保養を図る。 指定管理者として、(株)アロマ田沢湖が管理業務を行っている。</p>	<p>○市民浴場管理運営費 16,311,099円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者総数 32,429 人 内訳 <ul style="list-style-type: none"> ○当日券利用者 15,198 人 ○割引券利用者 10,442 人 ○無料利用者(小学生以下、障がい者) 1,150 人 ○仙北市民憩いの日利用 2,115 人 ・営業日数 325 日 ・1日あたり利用者数 99 人 ・入湯料 9,796,200 円 ・入湯税 4,183,350 円 <p>コロナウイルス感染症及び機器類故障による休業により利用者及び収入が前年度に比べ減少したものの、市民の憩いの場として安心して利用できるように感染症予防対策に努め、心身の保養に寄与した。</p>

4 款 衛 生 費 4 項 清 掃 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
776,013,000	775,622,268	0	390,732	○大曲仙北広域市町村圏組合廃棄物処理費負担金 令和元年度から広域市町村圏組合に移管した廃棄物処理施設運営に係る負担金。	○大曲仙北広域市町村圏組合廃棄物処理費負担金 690,008,000 円 人口減少や施設の老朽化といった課題に対応するため、令和元年度に広域化。廃棄物処理施設の運営管理により令和3年度も引続き、安定した廃棄物処理を行った。令和5年度から10年間、長期包括運営業務委託事業が始まる。
				○塵芥処理費 一般家庭から排出される廃棄物の安定した収集運搬等を行う。	○塵芥処理費 71,831,668円 ・一般廃棄物収集運搬業務委託料 71,638,424 円 市で指定する廃棄物収集の日程に合わせて、予定どおり廃棄物の収集運搬を行った。

5 款 労 働 費 1 項 労 働 諸 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
68,457,000	67,806,658	0	650,342	○技能功労者表彰事業費 技術者の社会的、経済的地位の向上及び技術水準の向上を目的に、優れた技能を有し後継育成を通じて各業界発展に貢献した方を表彰する。	○技能功労者表彰事業費 87,000円 ・技能功労者表彰選考委員会報償費 25,000 円 ・記念品等消耗品 32,000 円 ・技能功労者表彰賞賜金 30,000 円 各業界等から推薦のあった3人を表彰し、業界発展と技能意欲の向上に寄与した。
				○シルバー人材センター補助金 仙北市シルバー人材センターに対し、事業運営費の一部を支援する。	○シルバー人材センター補助金 8,000,000円 シルバー人材センターの安定的な事業運営を目指し、事業運営費の一部を支援した。コロナ禍においても、会員一人がひとりを紹介する入会促進活動を継続的に推進し、新たに27名が加入する等、次につなげるため取組んでいる。
				○スキルアップ事業費補助金 市内中小企業者が行う従業員研修費等の一部、及び市内在住の離職者、学卒等の未就職者の技術修得及び資格取得経費の一部を助成する。また、仙北市民が受講する職業訓練団体の講習会等に係る経費を全額助成する。	○スキルアップ事業費補助金 417,574円 ・勤労者分 1 件 6,000 円 ・雇用対策分 7 件 49,000 円 ・職業訓練分 29 件 362,574 円 市内事業者の従業員研修や市内在住の求職者の資格習得に対して助成を行い、従業員の技能向上や早期就職を促進した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○仙北市雇用促進助成事業費補助金 新たな正規雇用があった市内事業所および市内事業所に新たに正社員（新規学卒者を除く）として採用された市民に対し補助金を交付する。	○仙北市雇用促進助成事業費補助金 4,750,000円 ・事業所分 14件 ・雇用者分 21件（うち移住者6件） 市内事業所に正社員として就職した市民および移住者、新たな正規雇用があった事業所に対し補助金を交付し、市内への移住定住を促すとともに、市内事業所雇用の安定化を図った。
				○雇用創出助成金 市内事業所に正社員として就職した新規学卒者に対し就職応援金を交付する。	○雇用創出助成金 800,000円 ・ふるさと就職応援金分 800,000円 支給人数 16人 市内事業所に正社員として就職した新規学卒者に対し就職応援金を交付し、市内への移住定住を促すとともに、就職に係る経費負担を軽減させ、雇用の安定化を図った。

6 款 農 林 水 産 業 費 1 項 農 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
1,479,268,000	1,206,899,590	229,967,000	42,401,410	○機構集積支援事業費 農地の利用状況調査に係る市内全域の農地パトロールの実施や荒廃農地の所在把握、所有者への農地利用意向の意思確認を行うなど、荒廃農地等の解消や有効利用の促進、それに伴う農業委員及び農地利用最適化推進委員の資質向上を図る	○機構集積支援事業費 471,182円 ・調査計画等決定のための会議・資料作成 105,000円 ・利用上の調査の記録及び保存 127,187円 ・利用意向調査 238,995円 農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地パトロールで遊休農地の現状を確認し、所有者等に対して解消の働きかけに努め、約5.4haの解消が行われた。一方で農家の高齢化や不在地主、後継者不足に起因する新規遊休農地も増加傾向にあり、令和3年度遊休農地面積は約41.4ha（耕作放棄地率0.75%）となった。
				○農地利用最適化交付金事業費 農業委員会の積極的な活動を推進するため、農地利用の最適化に係る活動及び成果の実績に応じ、農業委員並びに農地利用最適化推進委員の手当及び一般報酬への充当を行う。	○農地利用最適化交付金事業費 11,093,000円 ・活動実績 1,029,000円 ・成果実績 10,064,000円 農地の出し手・受け手のニーズをマッチングさせる委員活動に対する報酬を確保することで、農地利用最適化の推進に寄与する。農地集積・集約化の活動により令和3年1月から令和3年12月までに約471.58haの農地集積が行われた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○農業経営基盤強化資金利子助成金 農業経営基盤強化資金償還金に係る利子分について助成する。	○農業経営基盤強化資金利子助成金 102,403円 ・利子助成金 102,403円 資金借入農業者の金利負担の軽減が図られた。
				○中山間地域等直接支払事業費 農業生産上、条件が不利となる中山間地域において、荒廃が懸念される農地を対象として、共同取組活動を推進し、耕作放棄地の抑制や多面的機能を確保する。 【集落協定数】 田沢湖地区7、西木地区2、角館地区3	○中山間地域等直接支払事業費 10,741,757円 ・補助金（12協定集落） 10,541,311円 ・需用費 191,016円 ・役務費 9,430円 補助金が効果的に活用され、条件不利農地の保全と、多面的機能の確保が継続されている。
				○グリーンツーリズム推進事業費 農家民宿の開業支援や勉強会を実施、国内外からの誘客を支援するとともに受入態勢の整備を行う。	○グリーンツーリズム推進事業費 1,054,806円 ・消耗品費 182,792円 ・公用車燃料費 61,720円 ・通信運搬費 73,184円 ・公用車保険料 14,990円 ・公用車使用料及び賃借料 252,120円 ・秋田花まるっグリーンツーリズム推進協議会負担金 200,000円 ・農山村体験推進協議会補助金 270,000円 市内施設を定期的に巡回し国や県、市の誘客施策の活用をすすめ、さらにはオンラインでの誘客をはかったことにより農家民宿全体の入込数は9,115人と前年対比144%となった。また開業支援にも積極的に取り組み、1軒農家民宿が新規開業した。
				○農業夢プラン型戦略作目等生産基盤拡大事業費 農業を先導する認定農業者等に対し、秋田県農林漁業振興臨時対策基金を活用し、米に依存しない複合経営への転換や農産物加工等による高付加価値化、契約栽培による経営の多角化などの取組を総合的に支援する。	○農業夢プラン型戦略作目等生産基盤拡大事業費 16,640,000円 ・夢プラン実現事業費補助金 対象 機械、施設等：9件 畜産：7件 補助金 16,640,000円（うち県費 11,428,000円）

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					機械・施設等の導入を支援することにより、戦略作物の産地づくりの強化、競争力の高い経営体の育成に寄与した。
				○経営所得安定対策推進事業費 対象事業への取組みに対して国が交付金を交付し、農家の経営所得の安定化を図る。	○経営所得安定対策推進事業費 9,003,006円 ・生産調整事務補助 2,541,856円 ・水田管理システム使用料 831,600円 ・補助金(仙北市地域農業再生協議会) 5,629,550円 交付金交付事務を円滑に進めることができ、農家の経営所得の安定化に寄与した。
				○薬用作物等産地拠点化支援事業費 国内需要の拡大が見込まれる薬用作物を農業経営に組み込み、農家の所得向上と経営安定を図るため、生薬製剤メーカーと連携し薬用作物等の産地化を推進する。	○薬用作物等産地拠点化支援事業費 884,000円 ・産地化支援補助金 884,000円 市内の気候や土壌にあった薬用作物の効率的・安定的な栽培に向けた技術の向上に寄与した。
				○通農体験・農業定住（五感楽農）事業費 JR東日本秋田支社との連携事業。秋田新幹線を活用し、農業を軸とした自然や伝統文化、観光等の企画を実施し、将来的な移住・定住に結び付けることを目指す。	○通農体験・農業定住（五感楽農）事業費 503,360円 ・五感楽農事業委託（新幹線輸送）（6/24～12/15） 251,680円 ・五感楽農事業委託（11/12～3/20） 251,680円 感染症拡大の影響で人の動きに制限があるなか、新幹線荷物輸送による五感楽農のブランディングや、講演会の開催などによるマイクロツーリズムの需要喚起などを行った。
				○未来農業のフロンティア育成研修費補助金 新規就農を目指している若者を対象とし、秋田県農業試験場等で研修する研修生に助成する。	○未来農業のフロンティア育成研修費補助金 2,400,000円 ・補助金（研修生2名） 2,400,000円 （うち県費） 1,260,000円 農業で自立しようとする意欲が高くなり、市内新規就農者の育成・確保に繋がった。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○産地パワーアップ事業費補助金 地域の営農戦略として、地域農業再生協議会が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、安定的な土地利用型作物の産地づくりを推進するため、地域の基幹的な機械・施設等の整備を支援する。</p>	<p>○産地パワーアップ事業費補助金 26,902,000円 【繰越明許】 26,902,000円 ・交付対象：1件（乾燥調製施設） ・補助対象事業費 44,839,546円 補助率：国1/2以内、市1/10以内 農家の高齢化が進む中、耕作放棄地を未然に防ぐため、農地中間管理機構を通じ農地の集約を図るとともに、水稻乾燥調製施設の建築に支援補助し、水稻作付け面積の拡大及び収量・品質の向上に寄与した。</p>
				<p>○ほ場整備区域地力増進作物作付事業費補助金 ほ場整備事業の実施による表土移動などによる水田地力の衰えを防止するため、地力増進作物作付及び管理を推進する。</p>	<p>○ほ場整備区域地力増進作物作付事業費補助金 5,430,000円 対象箇所 神代第2地区 対象面積 54.3ha (10aあたり10,000円) ほ場整備事業の実施による表土移動などによる水田地力の衰えを防止するため、地力増進作物ライ麦を播種し、翌年度作付までの適正な維持管理に寄与した。</p>
				<p>○仙北市畑作園芸等振興事業費補助金 水田を活用した園芸作物等の産地を育成するため、畑作物の生産性向上、省力化、規模拡大を目的とした農業者に対し、必要な機械・資材等の導入を支援する。</p>	<p>○仙北市畑作園芸等振興事業費補助金 2,773,000円 ・交付件数： 15件 2,773,000円 園芸作物の新規作付・規模拡大に対し、機械・資材などを支援することにより、米偏重からの脱却、産地づくり化に寄与した。</p>
				<p>○元気な中山間資源を活かす生産体制整備事業費補助金 地域農産物の導入及び6次産業化の実践に必要な機械、施設の導入により特色ある中山間地域農業の展開を図る。</p>	<p>○元気な中山間資源を活かす生産体制整備事業費補助金 11,373,000円 ・機械、資材等： 8件 ・補助金 11,373,000円 (うち県費 11,373,000円) 地域農産物の生産に必要な機械・施設の導入により、特色ある中山間農業の展開を推進した。</p>
				<p>○機構集積協力金推進事業費補助金 土地利用型農業からの経営転換や高齢化などによるリタイアなどを契機として、農地中間管理機構を通じた農地集積や連坦化を進める。</p>	<p>○機構集積協力金推進事業費補助金 37,795,800円 ・交付対象：74件 37,671,800円 ・返還対象（H30交付分）2件 124,000円 農地中間管理機構を通じて、地域の中心となる経営体への農地集積や分散化した農地の連坦化を円滑に進め地域農業のあり方について各集落ごとに話し合いがもたれ、将来的に効率的な農業経営を推進した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○新規就農総合支援事業費補助金 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るための経営安定支援、地域のリーダー的人材を育成する。</p>	<p>○新規就農総合支援事業費補助金 12,276,927円 ・農業次世代人材投資資金（経営開始型） 12,276,927円 夫婦2組、個人5人 新規就農者の安定的な経営開始を支援することで、新規就農者の確保、育成を推進した。</p>
				<p>○担い手確保・経営強化支援事業費補助金 担い手の育成・確保の取り組みと農地の集積・集約化の取り組みを一体的かつ積極的に推進する地域において、地域の担い手が経営発展に意欲的に取り組む際に必要となる農業機械等の導入について支援する。</p>	<p>○担い手確保・経営強化支援事業費補助金 31,859,000円 【繰越明許】 31,859,000円 ・交付対象：2件（乾燥調製施設、トラクターなど） ・補助対象事業費 63,718,000円 補助率：国1/2以内 売上高の拡大や経営コストの縮減など経営発展に関する目標を定めて、支援することにより、次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成確保を図る。</p>
				<p>○農業用マルチコプター導入事業費等補助金 農業用マルチコプターの所有者、又は1年以内に保有が見込まれる者に対して産業用マルチローターオペレーター技能認定証取得費用及び機材導入に助成する。</p>	<p>○農業用マルチコプター導入事業費等補助金 2,334,000円 ・機体取得助成 4件 1,774,000円 ・技能認定証取得助成 7件 560,000円 農業への先進技術の導入を促進し、市内農家における防除等体制の確立に寄与した。</p>
				<p>○条件不利農地を担う経営体支援事業費補助金 中山間地等において、担い手が秋田県農地中間管理機構を活用して条件が不利な農地を借り受けて規模拡大を図るとともに、農作物を生産しながら農地の保全に取り組む経営体を支援する。</p>	<p>○条件不利農地を担う経営体支援事業費補助金 1,945,312円 ・交付対象：20件 担い手が中山間地域の条件不利農地を農地中間管理機構を通じて集積することにより、農地本来の目的である農産物を生産し、耕作放棄地の発生を抑制した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○メガ団地等大規模園芸拠点育成事業費補助金</p> <p>ほ場基盤整備を契機として、メガ団地等大規模園芸拠点整備事業を活用し、水稻偏重から複合経営への転換を進め、農業所得の向上と雇用の創出など地域農業の活性化に支援する。</p>	<p>○メガ団地等大規模園芸拠点育成事業費補助金 131,112,000円</p> <p>・交付対象：2件（ねぎ栽培施設、神代地区）</p> <p>・補助対象事業費 174,390,650円 補助率：国1/2以内、県15/100又は1/2以内、市1/10又は1/4以内</p> <p>高収益作物であるねぎの作付拡大を図り、あわせてJA秋田おばこねぎ部会に参画することで、産地ブランドの確立に寄与した。</p>
				<p>○雪害対策緊急支援事業費補助金</p> <p>令和2年から3年までの冬期の大雪により被災した農業用ハウスの再建・修繕等を支援する。</p>	<p>○雪害対策緊急支援事業費補助金 941,000円</p> <p>・交付対象：6件</p> <p>・補助対象事業費 2,028,664円 補助率：県1/3以内、市1/6以内</p> <p>令和2年12月中旬からの大雪により、全壊の被害を被ったパイプハウスの施設復旧に寄与した。</p>
				<p>○低コスト技術等導入支援事業費補助金</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響による米の需要減少と米価下落が懸念される中で、市内農業経営体が自身の所得を維持するためスマート技術を活用して省人化・低コスト化を図るため必要となる機械の導入を支援する。</p>	<p>○低コスト技術等導入支援事業費補助金 46,205,000円</p> <p>・交付対象：3件（収量コンバインなど）</p> <p>・補助対象事業費 92,410,000円 補助率：県1/2以内</p> <p>スマート技術を活用した農業用機械を導入することで、農作業での作業人員の接触機会の低減などにより、省人化と低コスト化の促進に寄与した。</p>
				<p>○仙北市主食用米作付農家支援事業費補助金</p> <p>新型コロナウイルス感染症及びまん延防止のための措置が及ぼす影響により、米の消費が大幅に下落し、令和3年産米の概算金が大幅に下落したことによる市内主食用米作付農家の収入減少の影響を緩和し、農業経営の安定を支援する。</p>	<p>○仙北市主食用米作付農家支援事業費補助金 44,195,800円</p> <p>・交付対象：仙北市内の30a以上主食用水稻を作付けしている農業者</p> <p>・交付件数：955件</p> <p>・補助率等：主食用米1俵当たり200円</p> <p>・補助対象数量等：対象面積2,481haとして、220,979俵相当</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による米価下落対策として市独自の対策を講じることにより、市内主食用米作付農家の経営安定に寄与した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○仙北市堆肥センター管理運営費 仙北市堆肥センターを適切に管理運営する。	○仙北市堆肥センター管理運営費 7,511,034円 ・家畜排泄物処理量 2,694t ・堆肥販売量 384.5m ³ 仙北市堆肥センターの稼働により畜産環境が充実し、また堆肥センター製造堆肥の販売により持続可能な耕畜連携農業の推進に寄与した。
				○家畜導入事業費補助金 育種価評価に基づき発育、資質ともに優れた育成子畜を家畜市場等より導入し、家畜改良の促進、優良子畜生産基盤の確立に資する。	○家畜導入事業費補助金 3,010,000円 ・優良雌牛導入事業 8頭 380,000円 ・優良牛自家保留事業 19頭 570,000円 ・肥育素牛導入事業 94頭 2,060,000円 発育、資質ともに優れた育成子畜について、家畜市場等からの導入を進めることで、家畜改良の促進、優良子畜生産基盤の確立を推進した。
				○農地集積加速化基盤整備事業費 田沢湖生保内南地区・田沢湖神代地区の農地集積加速化基盤整備事業に対して負担する。	○農地集積加速化基盤整備事業費 312,635,900円 ・事業対象：生保内南地区、神代地区 報償費： 341,600円（各種専門委員会） 需用費： 262,000円 役務費： 8,000円 委託料： 495,000円（換地等調整業務） 負担金： 231,529,300円（事業費負担・交付金） 【繰越明許】 80,000,000円 ・事業対象：神代地区 負担金： 80,000,000円（事業費負担） 農地・水路・農道を一体で整備することにより、大型機械の導入が可能となり作業効率の向上が見込まれる。また、汎用田化し農業法人に集約することにより、大規模経営が可能となり、多品目の作物を作付することができ、農業収入の増加が見込まれる。
				○多面的機能支払交付金事業費 農地・農業用施設の保全や地域環境の保全、地域コミュニティの活性化を推進するため共同活動への支援を実施し、地域全体の保全管理の取組強化を図る。	○多面的機能支払交付金事業費 172,744,274円 ・事業対象：角館地区＝17組織 田沢湖地区＝19組織 西木地区＝18組織 計 54組織 報酬： 1,554,505円 手当等： 311,082円 共済費： 291,078円 旅費： 24,000円 需用費： 1,137,055円 役務費： 90,894円 使用料： 594,000円 補助金：農地維持 105,744,300円 資源向上 62,997,360円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					農家のみならず非農家を含む地域住民による共同活動や地域交流により、農業の有する防災機能及び自然環境を保全等の機能が維持管理された。
				○元気な中山間農業応援事業費 中山間地域において高収益作物への取り組みを推進するため、水田の畑地化整備を実施する。	○水田畑地化整備事業費負担金 1,600,000円 ・事業対象：生保内2地区 負担金： 1,600,000円 水田畑地化により条件不利な中山間においても収益性の高い品目への取り組みが可能となった。
				○農地中間管理機構関連ほ場整備事業費 西木八津鎌足地区・角館中川地区の農地中間管理機構関連ほ場整備事業及び角館大瀬蔵野地区の調査計画策定事業に対し負担する。	○農地中間管理機構関連ほ場整備事業費 28,506,917円 ・事業対象：八津鎌足地区、中川地区、大瀬蔵野地区 報償費： 585,600円（各種専門委員会） 需用費： 562,617円 役務費： 11,000円 委託料： 4,913,700円（換地等調整業務ほか） 負担金： 17,134,000円（調査計画及び事業費負担） 【繰越明許】 5,300,000円 ・事業対象：八津鎌足地区 負担金： 5,300,000円 農地・水路・農道を一体で整備することにより、大型機械の導入が可能となり作業効率の向上が見込まれる。また、汎用田化し農業法人に集約することより、大規模経営が可能となり、多品目の作物を作付することができ、農業収入の増加が見込まれる。
				○ため池等整備事業費負担金 田沢湖梅沢・岡崎地区の老朽化したため池を整備し、農村地域の防災減災化を図る。	○ため池等整備事業費負担金 11,030,000円 ・事業対象：岡本地区 森間地区 負担金： 10,980,000円 【繰越明許】 50,000円 ・事業対象：岡本地区 負担金： 50,000円 ため池を整備することで農業用水が確保でき、農業経営の安定が図れるほか、農村地域の防災にも繋がった。
				○都市農村交流施設管理運営費 田沢湖ハーブガーデンハートハーブの管理運営を行う。	○都市農村交流施設管理運営費 5,574,960円 ・修繕料 111,243円 ・委託料（指定管理業務委託料） 4,465,185円 ・火災保険料 63,532円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					・工事費（看板撤去） 935,000円 民間の指定管理者が管理運営を行うことで、利用者サービスの向上及び集客力の強化を推進した。
				○花葉館・角館森林総合利用施設管理運営費 花葉館・角館森林総合利用施設の指定管理者に対する管理業務委託料	○花葉館・角館森林総合利用施設管理運営費 15,908,225円 ・役務費 68,225円 ・委託料（指定管理業務委託料） 15,840,000円 指定管理者が管理運営を行うことにより、行政で行うよりも効果的な利用が見込まれ、集客力の増加が図られる。
				○花葉館施設整備事業費 花葉館設備の更新に係る工事費	○花葉館施設整備事業費 22,609,400円 ・工事請負費 22,049,500円 ・備品購入費 559,900円 花葉館の不具合箇所を工事することにより、施設の安定的かつ継続的な運営が可能となった。

6 款 農 林 水 産 業 費 2 項 林 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
128,830,000	127,276,828	0	1,553,172	○有害鳥獣駆除事業費 平成27年度から仙北市有害鳥獣対策実施隊を発足し、仙北市鳥獣被害防止計画に基づき、被害を防止する。 仙北市鳥獣被害防止計画 平成31年度から令和3年度 （平成30年度計画更新）	○有害鳥獣駆除事業費 5,848,330円 ・有害鳥獣対策実施隊出動実績 ①申請許可申請 田沢湖27件 角館 3件 西木11件 ②口頭許可申請 田沢湖 3件 角館 1件 西木 0件 ③出動延べ人数 田沢湖2,858人 角館583人 西木415人 令和3年度のクマの捕獲頭数は83頭である。農林産物の被害軽減、住民の生命・身体等に係る被害を防止した。
				○市有林造林保育費 山地の保全と資産価値の増加を目的に、造林した秋田スギの保育並びに活用を図る。 仙北市西木町上桧木内字坂本地内 間伐 14.24ha	○市有林造林保育費 2,589,405円 ・委託料 坂本地区保育間伐 14.24ha 1,714,900円 その他委託料（森林保険） 874,505円 将来の山地保全、資産価値の増加に寄与することができた。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○森林病虫害防除事業費 市内の高度公益機能森林および地区保全森林内でのマツ・ナラの枯死が確認された場合、被害拡大防止のための伐倒駆除を実施する。	○森林病虫害防除事業費 3,117,400円 ・委託料 3,117,400円 田沢湖春山キャンプ場で伐倒くん蒸を実施した。 田沢湖畔の湧尻で立木くん蒸を実施した。 田沢湖畔の樹幹注入を実施した。
				○森林経営制度管理事業費 森林経営管理法に基づき、手入れの行き届いていない森林について、森林所有者から経営管理権を取得した上で、経営管理を行い、又は経営管理実施権を民間事業者を設定する等の措置を講じ、林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進を図り、林業の持続的発展に資する。	○森林経営制度管理事業費 29,290,800円 意向調査対象面積 292.44 ha 経営管理権設定面積 47.52 ha 経営管理権設定森林間伐 22.13 ha 近年に手入れをしていない人工林の森林整備が実施され、林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能の発揮に寄与した。
				○マツ林・ナラ林等景観向上事業費 市内の守るべきマツ林・ナラ林内で枯死が確認された場合、景観維持及び安全面から支障になる立木の伐倒処理を実施する。	○マツ林・ナラ林等景観向上事業費 587,400円 ・委託料 587,400円 田沢湖石倉沢キャンプ場で伐倒処理を実施した。

7 款 商 工 費 1 項 商 工 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
1,065,649,000	1,043,299,053	1,980,000	20,369,947	○西宮家管理運営費 仙北市角館西宮家の管理運営に要する経費	○西宮家管理運営費 6,052,690円 ・需用費 42,900円 ・火災保険料 57,689円 ・委託料（指定管理委託料） 5,460,401円 ・工事請負費（北蔵入口ウッドデッキ修繕） 222,200円 ・工事請負費（北蔵西側入口修繕） 269,500円 西宮家北蔵入口2か所の老朽化が深刻であったため、利用者の安全確保の観点から改修工事を行った。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○角館中心市街地活性化センター管理運営費</p> <p>仙北市角館中心市街地活性化支援センターの管理運営に要する経費</p>	<p>○角館中心市街地活性化センター管理運営費 1,463,673円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災保険料 3,973円 ・委託料（施設維持管理） 38,500円 ・工事請負費（維持補修） 1,421,200円 <p>角館中心市街地活性化センターに隣接する建物が火災により一部が焼損。そのため当該部分の修繕工事を行った。</p>
				<p>○外町交流広場施設管理運営費</p> <p>仙北市角館中心市街地活性化支援センターの管理運営に要する経費</p>	<p>○外町交流広場施設管理運営費 2,213,341円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災保険料 23,527円 ・委託料（施設維持管理） 2,189,814円
				<p>○企業誘致対策事業費</p> <p>企業誘致活動及び工業団地の維持管理を実施する。</p>	<p>○企業誘致対策事業費 754,055円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務費、郵便料 52,000円 ・企業誘致関連旅費 295,891円 ・草刈委託料・草刈機賃借料 406,164円 <p>企業誘致に向けて、出向職員の企業訪問のための旅費、田沢湖黒沢工業団地の維持管理に努めた。</p>
				<p>○仙北市商工会補助金</p> <p>商工業をめぐる地域の諸課題に的確に対応していくため、仙北市商工会の活動を支援する。</p>	<p>○仙北市商工会補助金 9,833,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常事業分 6,810,000円 <p>企業に対して各種融資制度の斡旋や専門家等派遣による支援を行い、地元企業の活性化を図るとともに、経営能力向上やネットワーク拡充を目的としたセミナーを開催し、若手経営者や女性経営者の育成に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光と物産展 山の楽市 2,200,000円 <p>東京都町田市ぽっぽ町田を会場に物産展「山の楽市」を、11/19～21、12/17～12/19の2回開催した。開催期間の売上合計金額は11月開催が3,724千円、12月開催が2,679千円、合計6,403千円（前年比3,523千円増、55%増）と前年度より増加した。リピーターの方の利用も多く、市内特産品の販路開拓と継続的な活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街賑わい創出事業 323,000円 <p>昔から受け継がれているお雛様を展示する「角館雛めぐり」は、冬季の観光客が少ない時期にあって中心市街地に賑わいを創出していたが、令和3年度は県内で新型コロナウイルスの感染拡大により中止とした。また、立町商店会と協賛店による抽選会を行い、角館町中心市街地の活性化を図った。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<ul style="list-style-type: none"> 市内起業家育成支援事業 500,000円 起業、創業を希望する方に対して創業に係る基礎知識の習得を目的としたセミナーを3回（11月に3日間）開催し、創業しやすい環境の整備に寄与した。
				○空き店舗等利活用事業費補助金 空き店舗を活用し、賑わいある商店街づくりの推進に寄与する。	○空き店舗等利活用事業費補助金 545,000円 ・補助対象：3事業者 （飲食業(1)、理美容業(1)、その他サービス業(1)) 空き店舗を活用した事業者に対して店舗賃借料の一部を支援し、空き店舗解消を促進するとともに新規創業を生み出した。
				○中小企業活性化支援事業費補助金 新規開業や新分野進出、事業拡張に伴う施設整備等を支援する。	○中小企業活性化支援事業費補助金 4,305,000円 ・新規開業 3事業者（飲食業(2)、理美容業(1)) ・事業拡張 2事業者（製造業(1)、その他サービス(1)) ・新分野進出 令和3年度は、新規開業や事業拡張を目指す事業、新たな事業展開に対して計5件の支援を行った。
				○仙北市民プレミアム商品券事業費補助金 新型コロナウイルスの影響により、大きな打撃を受けている地域経済の回復を図るため、地域の消費喚起を目的として、仙北市商工会が行うプレミアム商品券事業に対し補助金を支出する。	○仙北市民プレミアム商品券事業費補助金 98,000,000円 仙北市商工会が発行する、プレミアム率が30%、発行総額が3億9千万円となる仙北市民プレミアム商品券事業に対し、補助金を支出し地域経済の下支えを行った。
				○仙北市伝統的工芸品等導入支援事業費補助金 新型コロナウイルスの影響により売上げが落ち込む市内伝統工芸品製造・販売事業者を支援するため、飲食店や宿泊施設で業務用として工芸品等を導入する費用の一部を助成する。	○仙北市伝統的工芸品等導入支援事業費補助金 7,724,000円 宿泊施設・飲食店等を営む方が、業務用として活用するために導入（購入）した仙北市伝統的工芸品等の経費に対し、補助率5分の4以内・上限40万円の補助金を37事業者に対して給付した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																					
				計 画	実 績 及 び 効 果																				
				<p>○仙北市感染予防対策支援事業費補助金 市内事業所が新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために衛生環境整備に取り組む際の、必要となる経費の一部を助成することで、事業所の安全性を高め、その事業継続を図る。</p>	<p>○仙北市感染予防対策支援事業費補助金 3,790,000円 感染予防環境を整備するために必要となる、飛沫感染予防、接触感染予防、換気対策、その他衛生対策に要する経費に対し、補助率3分の2以内・上限額10万円の補助金を52事業所に対して給付した。</p>																				
				<p>○仙北市経営維持支援金給付事業費 新型コロナウイルス感染症の影響で売上げが減少している市内の中小企業及び個人事業主に対して、仙北市経営維持支援金を給付することにより、市内事業者の経営維持を図る。</p>	<p>○仙北市経営維持支援金給付事業費 57,556,304円 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、前年度と比較して売上が20%以上減少するなどした事業者に対し、1事業者あたり10万円を561事業者に対して一律で交付した。</p>																				
				<p>○企業立地奨励金 産業の振興と雇用の拡大を図るため、企業立地促進条例に定められた奨励金を交付する。</p>	<p>○企業立地奨励金 9,133,165円 ・固定資産税相当額奨励金（7社） 9,012,000円 ・借地助成金（2社） 121,165円 奨励金の交付により、市内企業の事業拡張を促進し、雇用機会の拡大に寄与した。</p>																				
				<p>○観光宣伝費 観光客の誘客のため、首都圏や県外でのキャンペーンや旅行雑誌・タウン誌等でPR活動を行う。</p>	<p>○観光宣伝費 4,946,497円 ・広告料 888,800円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>雑誌広告</td> <td>その他広告</td> </tr> <tr> <td>4件</td> <td>4件</td> </tr> </table> ・パンフレット等印刷 2,946,878円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水ばしょう祭りリーフレット</td> <td>15,000 部</td> </tr> <tr> <td>仙北市あきた花紀行チラシ</td> <td>10,800 部</td> </tr> <tr> <td>仙北市観光ガイドマップ</td> <td>30,000 部</td> </tr> <tr> <td>仙北市観光案内マップ（おもむくままに）</td> <td>20,000 部</td> </tr> <tr> <td>仙北市観光パンフレット（四季色彩）</td> <td>25,000 部</td> </tr> <tr> <td>抱返り溪谷観光ガイドマップ</td> <td>20,000 部</td> </tr> <tr> <td>列車・バス時刻表</td> <td>10,000 部</td> </tr> </tbody> </table> </p>	雑誌広告	その他広告	4件	4件	項 目	数 量	水ばしょう祭りリーフレット	15,000 部	仙北市あきた花紀行チラシ	10,800 部	仙北市観光ガイドマップ	30,000 部	仙北市観光案内マップ（おもむくままに）	20,000 部	仙北市観光パンフレット（四季色彩）	25,000 部	抱返り溪谷観光ガイドマップ	20,000 部	列車・バス時刻表	10,000 部
雑誌広告	その他広告																								
4件	4件																								
項 目	数 量																								
水ばしょう祭りリーフレット	15,000 部																								
仙北市あきた花紀行チラシ	10,800 部																								
仙北市観光ガイドマップ	30,000 部																								
仙北市観光案内マップ（おもむくままに）	20,000 部																								
仙北市観光パンフレット（四季色彩）	25,000 部																								
抱返り溪谷観光ガイドマップ	20,000 部																								
列車・バス時刻表	10,000 部																								

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要													
				計画	実績及び効果												
					<p>・旅費 73,100 円</p> <p>〈観光キャンペーン等の実施内容〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>場所</th> <th>期日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光と物産「山の楽市」参加</td> <td>東京都</td> <td>11/20～11/22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(観光客数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>令和2年</th> <th>比較</th> <th>令和3年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,181,868</td> <td>対前年比 106.4%</td> <td>2,322,369</td> </tr> </tbody> </table> <p>・観光客数について 新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止が続いた令和2年度に比べ、令和3年度は規模を縮小しながらも開催したため入り込み客数は前年の106.4%となった。一方、緊急事態宣言等や県内の感染警戒レベルの引き上げなどの影響で県内外の往来が減少したため、宿泊者数は前年の93.58%にとどまった。</p>	項目	場所	期日	観光と物産「山の楽市」参加	東京都	11/20～11/22	令和2年	比較	令和3年	2,181,868	対前年比 106.4%	2,322,369
項目	場所	期日															
観光と物産「山の楽市」参加	東京都	11/20～11/22															
令和2年	比較	令和3年															
2,181,868	対前年比 106.4%	2,322,369															
			<p>○観光施設整備事業費 東北自然歩道女夫橋改修工事、モヤ森自転車道改修工事等の県事業費に対する仙北市分の負担金のほか、田沢湖白浜エリアの土地購入を実施する。</p>	<p>○観光施設整備事業費 12,571,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田沢湖白浜エリア土地購入 2,000,000 円 ・自然公園等施設整備事業負担金 8,651,000 円 <p>【繰越明許】 1,920,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉川温泉園地公衆トイレ改修工事・工事監理委託 (自然公園等施設整備事業負担金) 1,920,000 円 													
			<p>○教育旅行支援事業費 教育旅行の受入および誘致活動、受入体制の強化、民間事業者と共同で事業実施を行うためのネットワークのコーディネートを行う。</p>	<p>○教育旅行支援事業費 940,787円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会参加旅費(札幌・大阪) 54,500円 ・消耗品費 92,525円 ・仙北市体験ガイドマップ増刷 214,500円 ・通信運搬費 20,000円 ・教育旅行誘致活動事業業務委託 559,262円 <p>まん延防止等重点措置等の感染症拡大防止策の発令などにより、方面変更を余儀なくされた秋田県内の学校への誘致キャラバンの実施や、県外の誘致商談会への参加など、多方面へ切れ目のないPRを実施し、受入人数は25,064人、学校数は429校となった。</p>													
			<p>○国際観光宣伝・誘客事業費 台湾、タイをはじめとする海外からの誘客促進受入体制を整備し、交流人口の拡大を目指す。</p>	<p>○国際観光宣伝・誘客事業費 1,838,374円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 49,117円 ・観光リーフレット増刷(タイ語、繁体字) 187,000円 ・通信運搬費 15,257円 													

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<ul style="list-style-type: none"> 市内における台湾コーナー設置業務委託 1,584,000円 国際交流員研修負担金 3,000円 <p>台湾との交流の経緯の周知と物販を行うブースを、市内の3施設を巡回する形で設置し、市民や来訪者に向けてインバウンド再開に向け機運醸成を図った。また、感染症終息後を見据え、海外へのパンフレット送付、オンラインでの誘客宣伝等の情報発信を行った。</p>	
			<p>○青少年国際交流事業費 台湾との学校交流を中心に、海外との交流事業を実施し、青少年の国際感覚の育成につなげる。</p>	<p>○青少年国際交流事業費 179,731円</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾オンライン学校交流時消耗品費 100,227円 課内消耗品費 34,908円 通信運搬費 44,596円 <p>仙北市内全ての中学校、角館高校及び大曲支援学校せんぼく校（計7校）が台湾の学校とオンライン交流会を行った。仙北市側総計110人、台湾側総計142名の生徒、児童が参加し国際感覚造成や、交流人口の創出に繋げた。</p>	
			<p>○桜まちづくり事業費 角館落合地区・田沢湖下高野地区など市内の文化財指定以外の桜の維持管理を実施する。</p>	<p>○桜まちづくり事業費 2,731,052円</p> <p>落合、田沢湖下高野地区を中心に、通年での草刈り、施肥、選定作業等を行い、桜の維持管理の他、下高野地区では桜に対する有害鳥獣「ウソ」の駆除を委託し実施した。桜の新名所づくりを目指し、PR活動や関係各所との連携を進めた。</p>	
			<p>○地域ブランディングによる観光まちづくり事業費（地方創生推進交付金）</p> <p>仙北市内にある地域資源のブランディングを図るとともに、訪日観光客を受け入れるための環境整備及び受け入れ体制整備を行う。また、海外プロモーション、外国人材を採用した観光情報等の発信を行う。</p>	<p>○地域ブランディングによる観光まちづくり事業費（地方創生推進交付金） 20,330,911円</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流員賃金及び活動費 4,498,722円 交通サービスのメディア利用によるプロモーション業務委託 2,200,000円 観光動態調査業務委託 4,505,008円 WEB接客ツール導入及び分析業務委託 1,999,988円 地域コンテンツ販売促進及び分析業務 2,728,000円 海外誘客に向けた情報発信業務 4,399,193円 <p>情報発信や受入態勢整備、ホームページの観光情報のエリアゲート設定等を進め、感染症終息後の欧米豪やタイ等の海外からの来訪者増加に繋げる活動を行った。また、令和元年9月に着任し、活動を行っている国際交流員は、オンラインを中心に、積極的に誘客事業を企画、実施した。</p>	

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要									
				計画	実績及び効果								
				<p>○3D連携を基軸とした交流拡大事業費 大館市、仙北市、小坂町、北秋田市の4市町と函館市が連携し、相互交流を進めエリアの周遊性向上に向けた取り組みを検討、実施する。</p>	<p>○3D連携を基軸とした交流拡大事業費 100,712円 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となったが、広告展開は通常通り実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議旅費 7,030円 ・函館新聞社ハコラク広告掲載委託 25,746円 ・FMいるか番組出演等広告委託 67,936円 								
				<p>○東北ディステーションキャンペーン事業費 令和3年4月1日から9月30日の期間に、東北6県とJR6社が一体となって観プロモーションを行う東北DC。本市の魅力を国内外に発信することで東北観光のブランド化として観光客増加を図る。</p>	<p>○東北ディステーションキャンペーン事業費 1,408,300円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤そばライトアップ委託料 90,200円 ・西宮家ライトアップ委託料 89,100円 ・ポータブル電源購入費 429,000円 ・新・角館「タイムスリップ」補助金 800,000円 <p>緊急事態宣言や県内及び市内の新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に伴い、当初予定していた事業の中止や規模縮小での実施となった。</p>								
				<p>○仙北ニューネイチャーツーリズム造成事業費 新しい自然体験コンテンツのプロモーションと磨き上げを行い、エリア全体のブランディングにつなげることで、交流人口の拡大を行う。</p>	<p>○仙北ニューネイチャーツーリズム造成事業費 4,999,500円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい自然体験コンテンツ造成事業委託 4,999,500円 <p>前年度実施した誘客多角化による滞在コンテンツ造成事業により作成され販売が行われている田沢湖エリアの新コンテンツについて、将来的なインバウンドの誘客に備え、本事業の実施により国内からの誘客を行い、コンテンツの磨き上げを行った。</p>								
				<p>○仙北市プレミアム観光支援事業費 新型コロナウイルス感染症に伴う観光客の減少により、本市の観光産業が大きな影響を受けているうえ、例年でも初夏は観光客が大きく減少することから、仙北市独自の観光支援としてプレミアムお土産券とオンライン販売サイトの送料無料サービスを実施することで、観光消費の拡大を図ることを目的とする。</p>	<p>○仙北市プレミアム観光支援事業費 31,648,896円 〈仙北市プレミアムお土産券〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレミアムお土産券充当経費</td> <td>300円</td> <td>87,170枚</td> <td>26,151,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施期間は令和3年7月22日から11月30日までとし、仙北市に訪れた仙北市民以外を対象とした。観光案内所ほか指定の窓口での対面販売とし、1枚700円（券面額1,000円）で5枚セット3,500円（券面額5,000円）、1人最大10セットを上限に販売した。県内および市内の感染症拡大の影響もあり、販売総数は100,000枚に対して87,170枚にとどまった。利用枚数は86,983枚（99.79%）。</p>		単価	数量	金額	プレミアムお土産券充当経費	300円	87,170枚	26,151,000円
	単価	数量	金額										
プレミアムお土産券充当経費	300円	87,170枚	26,151,000円										

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																	
				計画	実績及び効果																
				<p>○2021仙北市プレミアム宿泊支援事業費 新型コロナウイルス感染症に伴う観光客の減少により、本市の観光産業が大きな影響を受けていることから、秋田県民割や秋田県プレミアム宿泊券に連動し、秋田県民を市内の宿泊施設に誘導することで観光消費の拡大を図ることを目的とする。</p>	<p>○2021仙北市プレミアム宿泊支援事業費 17,972,220円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏割キャンペーン</td> <td>3,000円</td> <td>2,562枚</td> <td>7,686,000円</td> </tr> <tr> <td>秋割キャンペーン</td> <td>3,000円</td> <td>2,336枚</td> <td>7,008,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>4,898枚</td> <td>14,694,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈夏割キャンペーン〉 7月22日チェックインから9月30日チェックアウト分までを対象。県内及び市内の感染症拡大の影響により、利用率が伸び悩んだため利用期間を12月31日まで延長。市内の宿泊施設を利用する秋田県民に限定し、宿泊料から3,000円を割引。応募はWEB専用フォームのみとし、応募総数9,184名、当選倍率6.12倍。発行した3,000枚のうち精算枚数は2,562枚、利用率は85.40%となった。</p> <p>〈秋割キャンペーン〉 10月1日チェックインから2月28日チェックアウト分までを対象。市内の宿泊施設を利用する秋田県民に限定し、宿泊料から3,000円を割引。応募はWEB専用フォームのみとし、応募総数7,652名、当選倍率5.10倍。発行した3,000枚のうち精算枚数は2,336枚、利用率は77.86%となった。</p>		単価	数量	金額	夏割キャンペーン	3,000円	2,562枚	7,686,000円	秋割キャンペーン	3,000円	2,336枚	7,008,000円	合計		4,898枚	14,694,000円
	単価	数量	金額																		
夏割キャンペーン	3,000円	2,562枚	7,686,000円																		
秋割キャンペーン	3,000円	2,336枚	7,008,000円																		
合計		4,898枚	14,694,000円																		
			<p>○秋田の観光創生推進会議負担金 官民が一体となった誘客宣伝活動や受入態勢整備を推進する秋田の観光創生推進協議会の事業経費を負担する。</p>	<p>○秋田の観光創生推進会議負担金 986,000円 〈市内で行う事業に活用した補助金〉 ・公共交通を活用した「春らんまん」広告ジャックプロジェクト ・新・角館タイムスリップ</p>																	
			<p>○田沢湖・角館観光協会補助金 仙北市3地区の観光協会と観光連盟が合併し、田沢湖・角館観光協会として発足。地域一体となったPR活動及び日本人観光客並びにインバウンド受入態勢の強化を図る。</p>	<p>○田沢湖・角館観光協会補助金 26,780,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な事業内容等</th> <th>数量等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雑誌・新聞等広告</td> <td>13 件</td> </tr> <tr> <td>ポスター作成</td> <td>3,220 枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>観光事業者の下支えを目的に市の委託事業や独自の観光経済対策を実施したほか、コロナ禍におけるアクティビティコンテンツの造成に取り組んだ。また、マイクロツーリズム促進を重点として、県内需用の掘り起こしや仙台圏・首都圏の交通系を中心とした広告事業を展開した。</p> <p>〈観光経済対策事業〉 ・2021仙北市プレミアム宿泊支援事業 ・仙北市プレミアム観光支援事業 ・冬こそおでかけキャンペーン</p>	主な事業内容等	数量等	雑誌・新聞等広告	13 件	ポスター作成	3,220 枚											
主な事業内容等	数量等																				
雑誌・新聞等広告	13 件																				
ポスター作成	3,220 枚																				

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					〈アクティビティコンテンツの促進〉 ・新しい自然体験コンテンツ造成事業 〈広告展開〉 秋田駅のほかJR東日本首都圏駅などにポスターや中吊り広告、デジタルサイネージによる広告展開
				○伝統的工芸品振興費補助金 角館工芸協同組合の活動を支援する。	○伝統的工芸品振興費補助金 900,000円 角館工芸協同組合が実施する樺細工振興に資する事業に対して支援を行い、伝統工芸品の振興に寄与した。
				○伝統工芸品等振興支援事業費補助金 県補助金と併せ、樺細工振興事業を支援する。	○伝統工芸品等振興支援事業費補助金 1,200,000円 角館工芸協同組合が全国各地で実施する展示販売事業や、高騰する原材料の代替材確保に係る研究事業を支援し、全国に向けた樺細工の販売促進・宣伝等の需要開拓などに寄与した。
				○特別展開催費 企画展を4回開催する。	○特別展開催費 186,250円 ①打掛展 4/10～6/20 ②角館の工芸品展 6/26～9/26 ③樺細工館蔵品展 10/2～1/30 ④角館のひな人形展 2/1～4/4 郷土資料を展示する地域密着型の特別展を開催することにより、地域に伝わる文化資料を来館者に紹介することができ、誘客にも繋がった。

8 款 土 木 費 2 項 道 路 橋 り よ う 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
1,447,834,000	1,374,742,927	49,467,000	23,624,073	○市民参加型インフラ維持整備費 市民が参加し、地域のインフラ整備を行うために必要な資材を支給する。	○市民参加型インフラ維持整備費 472,340円 ・インフラ維持整備団体 5団体 ベンチフリューム等 市民参加型による地域のインフラ整備の実施に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○社会資本整備総合交付金事業費 道路改良により交通基盤を整備し、歩行者や交通量に配慮した安全・安心な市道の整備を進める。</p>	<p>○社会資本整備総合交付金事業費 401,447,009円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙北市道路橋定期点検業務委託（小規模含む） 23,300,200円 ・仙北市道路橋（JR上大塚こ線橋）定期点検業務委託 6,459,385円 ・橋梁補修詳細設計業務委託（6件） 68,309,100円 ・市道東田鎌川線道路改良工事 51,840,800円 ・橋梁補修工事（第2期）（2件） 41,491,900円 ・古館野橋橋梁整備工事（A1橋台・護岸） 13,309,800円 <p>【繰越明許】 119,371,100円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内川橋橋梁補修詳細設計業務委託 12,157,000円 ・市道田町山公園線道路舗装工事 26,895,000円 ・橋梁補修工事（馬橋・第2期） 21,526,000円 ・古館野橋橋梁整備工事（A1橋台・護岸） 58,793,000円 <p>歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。</p>
				<p>○臨時地方道整備事業費 道路改良、舗装、橋梁改良を行い、道路の安全と利便性の向上を図る。</p>	<p>○臨時地方道整備事業費 51,509,786円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道外日三市1号線調査測量業務委託 1,111,000円 ・市道東田手習石線道路改良工事 19,857,000円 ・道路舗装工事（2件） 8,814,300円 ・市道大谷地相内線側溝改良工事 3,971,000円 <p>【繰越明許】 14,665,486円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道山谷川崎黒沢線道路改良工事 9,977,500円 ・市道東田手習石線道路改良工事 4,415,600円 <p>歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。</p>
				<p>○辺地対策事業費 道路改良、舗装、橋梁改良を行い、道路の安全と利便性の向上を図る。</p>	<p>○辺地対策事業費 205,569,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道大瀬蔵野線道路改良工事積算業務委託 3,322,000円 ・市道大瀬蔵野線道路改良工事（第2期） 144,650,000円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<p>【繰越明許】 57,597,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 大瀬蔵野橋橋梁整備工事積算業務委託（上部工製作・下部工等） 5,041,300円 大瀬蔵野橋橋梁整備工事（上部工製作・架設、高水護岸工） 52,555,700円 <p>歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。</p>
				<p>○過疎対策事業費 道路改良、舗装、橋梁改良を行い、道路の安全と利便性の向上を図る。</p>	<p>○過疎対策事業費 38,777,200円</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路舗装工事（3件） 18,846,300円 市道釣田線側溝改良工事 3,232,900円 <p>【繰越明許】 16,698,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道鶴の湯線道路舗装工事 8,580,000円 市道夏瀬線道路改良工事 8,118,000円 <p>歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。</p>
				<p>○道路改良事業費 道路改良、舗装、橋梁改良を行い、道路の安全と利便性の向上を図る。</p>	<p>○道路改良事業費 4,178,706円</p> <ul style="list-style-type: none"> 登記委託料（所有権移転）等（4件） 988,706円 市道造道石神線道路横断側溝改良工事 1,463,000円 <p>【繰越明許】 1,727,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道神代岡崎線局部改良工事 1,727,000円 <p>歩行者や交通量に配慮された安全安心な市道の整備を推進した。</p>
				<p>○橋りょう維持補修費 橋りょうの維持補修を行い、適正な維持管理を行う。</p>	<p>○橋りょう維持補修費 5,423,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋敷沢橋橋梁翼壁保全工事 5,423,000円 <p>保全工事を実施し、適切な維持管理を実施した。</p>

8 款 土 木 費 4 項 都 市 計 画 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実績及び効果
755,163,000	754,216,421	0	946,579	○生保内公園施設維持管理費 生保内公園の適正な維持管理を行う併せて子ども広場に遊具の設置を行う。	○生保内公園施設維持管理費 7,968,822円 ・生保内公園施設維持管理業務委託 1,602,326円 ・生保内公園遊具設置工事 5,527,500円 適正な維持管理と遊具新設による子どもの遊び場づくりの確保に寄与した。

8 款 土 木 費 5 項 住 宅 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実績及び効果
49,574,000	46,377,403	0	3,196,597	○住宅リフォーム促進事業費補助金 市内の住宅環境の改善による市民生活の向上及び地域経済の活性化を図るため住宅リフォームに係る費用を補助する。	○住宅リフォーム促進事業費補助金 5,835,000円 ①持ち家型 ・一般世帯 23件 1,446,000円 ・子育て世帯 18件 2,739,000円 ②空き家購入型 ・市内在住（子育て世帯） 1件 300,000円 ③災害復旧 9件 1,350,000円 交付した補助金5,835,000円に対し、リフォーム発注総額（補助対象事業費）は144,242,840円にのぼり、直接効果で約24倍の経済効果及び被災者支援に効果があった。

9 款 消 防 費 1 項 消 防 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
885,826,000	833,117,351	37,309,000	15,399,649	○再災害防止対策事業費 何度も災害が発生している箇所について、徹底的に防災強化を図り、将来にわたって安心して生活ができる環境に整備する。	○再災害防止対策事業費 28,450,853円 ・ 豆栗沢川河川改修工事（1工区） 25,216,853円 ・ 高屋地区冠水対策工事（第2期） 3,234,000円 何度も災害が発生している箇所を選定し、再災害防止のための対策工事を実施した。

10 款 教 育 費 1 項 教 育 総 務 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
226,742,000	221,089,366	0	5,652,634	○仙北市ウインタースポーツパワーアップ事業費補助金 雪国である仙北市の自然条件を生かして積極的にウインタースポーツに親しむことを支援するとともに、冬期間、運動不足になりがちな児童生徒の体力の維持・向上を図る。	○仙北市ウインタースポーツパワーアップ事業費補助金 1,242,100 円 ・ スキー教室のリフト代への補助 ①小学校 角館小学校 427 人参加 277,550 円 白岩小学校 0 人参加 0 円 生保内小学校 274 人参加 178,100 円 神代小学校 179 人参加 116,350 円 西明寺小学校 162 人参加 105,300 円 桧木内小学校 112 人参加 72,800 円 ②中学校 角館中学校 333 人参加 333,000 円 生保内中学校 108 人参加 108,000 円 神代中学校 0 人参加 0 円 西明寺中学校 40 人参加 40,000 円 桧木内中学校 11 人参加 11,000 円 スキー教室のリフト代の負担を軽減し、ウインタースポーツを通じた体力の向上に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○要保護及び準要保護児童生徒就学援助費 経済的理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対して、就学に必要な援助を行う。	○要保護及び準要保護児童生徒就学援助費 3,419,097円 ・事業対象 要保護 小学校 4人、中学校 2人 準要保護 小学校 23人、中学校 21人 就学に係る学用品費等、保護者の負担軽減に寄与した。
				○特別支援教育就学奨励費 特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため援助する。	○特別支援教育就学奨励費 450,460円 ・小学校 6人 ・中学校 8人 就学に係る学用品費等、保護者の負担軽減に寄与した。
				○GIGAスクール構想推進事業費 GIGAスクール構想に伴う児童生徒一人一台端末や専用のネットワークを整備し、仙北市でのGIGAスクール構想を推進する。	○GIGAスクール構想推進事業費 11,142,769円 ・役務費 1,024,540円 ・委託料 7,447,000円 ・使用料及び賃借料 25,554,146円 ・補償補充及び賠償金 117,083円 GIGAスクールサポーターによる教職員への支援を継続した他、予定通り端末やネットワーク環境を維持することができた。
				○高校入学準備貸付金 高等学校に入学を希望する要保護及びこれに準ずる生徒の保護者に1人10万円以内の金額を無利子で貸付する。	○高校入学準備貸付金 100,000円 ・1人の保護者に貸付 無利子貸付金により経済的負担の軽減に寄与した。
				○育英奨学基金繰出金 若年層の定住促進を図るため、仙北市に居住し就労している方の償還金を免除し、同額を育英奨学基金に繰り出す。	○育英奨学基金繰出金 7,391,000円 ・償還金免除分 53件 7,391,000円 償還金免除制度の開設6年目であり、利用者に対して制度の周知等を図り、若年層の仙北市定住推進に寄与した。
				○学校教育バックアップ事業費 学校教育活動等の補助・支援のために、社会貢献を希望する者で組織し、各学校で活用する。	○学校教育バックアップ事業費 289,950円 ・バックアップスタッフへの謝礼 266,500円 支給人員 43人 支給件数 533件 ・バックアップスタッフボランティア保険料 23,450円 バックアップスタッフの活動により、学校教育活動の充実に寄与した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○スクールカウンセラー配置・活用事業費 スクールカウンセラーを小中学校に派遣し、不登校・保健室登校の児童生徒をなくすため、市内の児童生徒・保護者・教師の相談指導を行う。	○スクールカウンセラー配置・活用事業費 394,799円 ・臨床心理士への報償費・交通費等 ・事業内容 市内小中学校教師、保護者、児童生徒への相談指導 相談件数 28件 不登校等児童生徒の悩みについてカウンセリングを行い諸課題の解決に向けた一助となった。

10 款 教 育 費 2 項 小 学 校 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
288,533,000	274,633,935	0	13,899,065	○諸工事費 各学校からの要望をとりまとめ、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い工事等を実施する。	○諸工事費 23,934,900 円 ①神代小学校体育館漏水改修工事 5,500,000 円 ②仙北市立生保内小学校北校舎及び外部トイレ給水管改修工事 3,465,000 円 ③仙北市立生保内小学校体育館屋根改修他工事 3,415,500 円 ④仙北市立生保内小学校受電設備高圧機器更新工事 2,123,000 円 ⑤その他市立小学校各種工事11件 8,048,700 円 各学校と協議しながら学校施設の維持に必要で緊急性の高い工事を実施した。
				○特別支援教育支援員派遣事業費 特別な支援を必要とする児童に対し、学校生活の支援を行うため、非常勤職員を配置する。	○特別支援教育支援員派遣事業費 56,007,640円 ・事業内容 特別支援教育支援員31人を配置 配置校 小学校6校 支援員を配置することにより、児童の教育の充実と、学級担任の負担軽減に寄与した。
				○学校保健特別対策事業費 学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら児童の学びの保証をする体制の整備を促進する。	○学校保健特別対策事業費 5,170,318円 ①角館小学校 1,198,734 円 ②白岩小学校 782,877 円 ③生保内小学校 798,785 円 ④神代小学校 799,561 円 ⑤西明寺小学校 790,709 円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					⑥桧木内小学校 799,652 円 密閉・密集・密接を回避し、児童・教職員等の感染症対策に必要となる物品を購入し、感染症対策を行った。
				○教育コンピューター推進事業費 教育用コンピューターのリース料及び保守管理業務委託料。 最新のコンピューター機器を操作できる人材の育成を図る。	○教育コンピューター推進事業費 31,174,730円 ・使用料（フィルタリング）（小学校 6校分） 238,568 円 ・委託料（小学校 6校分） 1,247,400 円 ・リース料（小学校 6校分） 28,907,280 円 コンピューターを使用した学習を推進した。
				○冬期スクールバス運行費 神代小学校の児童の通学困難解消のため、降雪期にスクールバスを運行する。	○冬期スクールバス運行費 5,911,642円 ・事業対象 神代地区の児童 33人 冬期間の登下校時の通学困難等を解消した。
				○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 これまでの総合的な学習を拡充し、ふるさと教育・キャリア教育について、各学校が特色ある取り組みが出来るよう支援する。	○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 1,157,885円 ・事業内容 ①角館小学校 193,590 円 陶芸体験、提灯づくり体験他 ②白岩小学校 184,965 円 白岩焼陶芸体験、「みんなの白岩農園」他 ③生保内小学校 254,330 円 農業体験、ふるさと探検他 ④神代小学校 198,772 円 米作り体験、漬物作り販売体験他 ⑤西明寺小学校 213,938 円 鎌足和紙すき体験、農業体験他 ⑥桧木内小学校 112,290 円 農業体験、紙風船制作・打ち上げ他 地域を学ぶことにより、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する心を醸成した。

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○児童派遣費補助金 学校教育活動の一環として行うコンクール、発表会等に出場し、派遣費を補助する。	○児童派遣費補助金 1,760,804円 ①角館小学校 1,430,344円 ②西明寺小学校 66,440円 ③神代小学校 264,020円 交通費・宿泊費の保護者の負担を軽減した。
				○遠距離児童通学費補助金 バスによる通学の片道が、原則として4km以上のバス通学費に対し補助する。	○遠距離児童通学費補助金 2,015,930円 ①生保内小学校 15人 1,157,970円 ②角館小学校 11人 228,510円 ③神代小学校 29人 502,530円 ④白岩小学校 10人 126,920円 バスの定期代等、保護者の負担を軽減した。

10 款 教 育 費 3 項 中 学 校 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
189,012,000	179,533,213	0	9,478,787	○諸工事費 各学校からの要望をとりまとめ、現地調査を実施し、優先順位を付け、緊急性の高い工事等を実施する。	○諸工事費 6,994,900円 ①仙北市立椴木内中学校灯油タンク改修工事 4,158,000円 ②椴木内中学校体育館無線放送設備工事 632,500円 ③その他市立中学校各種工事 4件 1,275,500円 各学校と協議しながら工事を実施し、学校の維持管理を適切に行った。
				○特別支援教育支援員派遣事業費 特別な支援を必要とする生徒に対し、学校生活の支援を行うため、非常勤職員を配置する。	○特別支援教育支援員派遣事業費 9,687,408円 ・事業内容 特別支援教育支援員5人を配置 配置校 中学校3校 支援員を配置することにより、生徒の教育の充実と学級担任の負担を軽減した。
				○学校保健特別対策事業費 学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら生徒の学びの保証をする体制の整備を促進する。	○学校保健特別対策事業費 3,960,096円 ①角館中学校 791,413円 ②生保内中学校 731,134円 ③神代中学校 799,998円

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				④西明寺中学校 799,550 円 ⑤桜木内中学校 778,001 円 密閉・密集・密接を回避し、生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品を購入し、感染症対策を行った。	
			○外国青年招致事業費 英語に対して興味を持てる質の高い授業の実現を図るため、外国語指導助手を配置する。	○外国青年招致事業費 14,465,034円 ・角館地区 マーク先生 ・田沢湖地区 イーサン先生 ・西木地区 ニック先生 日々の授業や英語暗唱弁論大会などの指導を通して、市内小中学校の外国語教育、国際理解教育の充実に寄与した。	
			○教育コンピューター推進事業費 教育用コンピューターのリース料及び保守管理業務委託料。 最新のコンピューター機器を操作できる人材の育成を図る。	○教育コンピューター推進事業費 28,075,254円 ・使用料（フィルタリング）（中学校5校分） 198,770 円 ・委託料（中学校 5校分） 1,603,800 円 ・リース料（中学校 5校分） 25,407,408 円 コンピューターを使用した学習を推進した。	
			○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 これまでの総合的な学習を拡充し、ふるさと教育・キャリア教育について、各学校が特色ある取組ができるよう支援する。	○キャリア教育・ふるさと学習支援事業費 1,195,712円 ・事業内容 ①角館中学校 96,818 円 桜並木詩碑体験、地域除雪活動他 ②生保内中学校 184,971 円 秋田駒ヶ岳登山、鳴砂再生体験他 ③神代中学校 206,980 円 地域清掃ボランティア活動、除雪ボランティア他 ④西明寺中学校 540,089 円 鎌足和紙すき体験、聞き書き学習他 ⑤桜木内中学校 166,854 円 ふるさとクリーンアップ、紙風船制作打ち上げ他 地域を学ぶことにより、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する心を醸成した。	

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				○生徒派遣費補助金 学校教育活動の一環として行う体育大会、コンクール及び発表会等の出場に対し、派遣費を補助する。	○生徒派遣費補助金 4,357,412円 ・補助内容 大曲・仙北、全県大会、東北大会、全国大会出場に係る交通費・宿泊費に対する補助 ①角館中学校 2,383,370円 ②生保内中学校 439,860円 ③神代中学校 865,812円 ④西明寺中学校 434,850円 ⑤桧木内中学校 233,520円 交通費・宿泊費の保護者の負担を軽減した。
				○遠距離生徒通学費補助金 市内中学校（角館、生保内、神代）に通学する生徒のうち、遠距離（6km以上）通学者に対し補助を行う。	○遠距離生徒通学費補助金 1,020,170円 ①生保内中学校 5人 1,011,660円 ②角館中学校 4人 8,510円 バスの定期代等、保護者の負担を軽減した。

10 款 教 育 費 5 項 社 会 教 育 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
486,382,000	472,573,701	0	13,808,299	○花いっぱい運動推進事業費 花いっぱい推進運動を通じて自然に親しみながら、地域融和を図り、訪れる方をもてなす。	○花いっぱい運動推進事業費 1,823,720円 ・需用費 741,312円 植栽を目的に、マリーゴールド苗を地域団体他へ配布。 配布件数:74件 配布本数:26,700本 ・委託料 1,082,408円 フラワーロード一斉植栽は中止となったが、植栽区間の管理のため除草作業を行った。
				○中央公民館活動推進事業費 ・公民館講座 生涯学習の機会として、市民の要望を取り入れた講座を実施。 健康づくり、趣味・教養など生活に即した講座を提供。	○中央公民館活動推進費 3,226,111円 ・公民館講座 1,279,000円 中央公民館 文芸教室、パッチワーク教室、エコクラフト教室、山野草の寄せ植え教室、ふるさと講座、書き方教室、ロープワーク教室等 計15講座 延べ433人

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																				
				計画	実績及び効果																																			
				<p>田沢湖公民館 ヨガ教室、花のブローチ作り教室、ペン字教室、 テーブルフラワー教室、んみやもの料理教室、 民謡教室、中国語・韓国語教室他 計13講座 延べ229人</p> <p>角館公民館 料理教室、プラかごづくり教室、こけ玉づくり教室、 羊毛フェルト教室、絵本づくり教室他 計11講座 延べ279人</p> <p>・仙北市民公民大学 仙北市民が学習を通じて知識と連帯感 を高め、地域社会の発展に寄与する。</p> <p>・学校連携支援事業 市内小・中学校並びに支援学校と地 域市民との交流を推進する。</p> <p>・自主学習活動支援 身近な趣味や教養等を通じ仲間と交 流を深める、自主的な活動を支援す る。</p>	<p>田沢湖公民館 ヨガ教室、花のブローチ作り教室、ペン字教室、 テーブルフラワー教室、んみやもの料理教室、 民謡教室、中国語・韓国語教室他 計13講座 延べ229人</p> <p>角館公民館 料理教室、プラかごづくり教室、こけ玉づくり教室、 羊毛フェルト教室、絵本づくり教室他 計11講座 延べ279人</p> <p>・仙北市民公民大学 290,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">せんぼく校交流事業</th> </tr> <tr> <th></th> <th>開催数</th> <th>延べ人数</th> <th>回数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郷土研究学科</td> <td>11 回</td> <td>536 人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>園芸学科</td> <td>15 回</td> <td>240 人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>書道学科</td> <td>22 回</td> <td>352 人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>陶芸学科</td> <td>32 回</td> <td>537 人</td> <td>2 回</td> <td>24 人</td> </tr> <tr> <td>社会学科</td> <td>2 回</td> <td>12 人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・学校連携支援事業 39,000円 太極拳体験教室、親子ヨガ教室（支援学校せんぼく校） 戸沢氏祭り踊り（西明寺中学校） 大根掘り体験（生保内小学校） 計 4 回</p> <p>・自主学習活動支援 152,000円 市民生活講座（田沢湖）17組、（中央）2組 計 38 回実施 参加者 延べ 640 人</p> <p>自主学習グループの活動支援を中心に、伝統芸能の後継者育成、県内有数の観光地として需要の高い外国語教室など、地域の学習ニーズに応じた多様な公民館事業を展開した。また仙北市民公民大学と大曲支援学校せんぼく校との交流など、世代間交流及び地域活動の発展に寄与した。</p>	せんぼく校交流事業						開催数	延べ人数	回数	延べ人数	郷土研究学科	11 回	536 人	—	—	園芸学科	15 回	240 人	—	—	書道学科	22 回	352 人	—	—	陶芸学科	32 回	537 人	2 回	24 人	社会学科	2 回	12 人	—	—
せんぼく校交流事業																																								
	開催数	延べ人数	回数	延べ人数																																				
郷土研究学科	11 回	536 人	—	—																																				
園芸学科	15 回	240 人	—	—																																				
書道学科	22 回	352 人	—	—																																				
陶芸学科	32 回	537 人	2 回	24 人																																				
社会学科	2 回	12 人	—	—																																				

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○図書資料購入費（田沢湖図書館） 公共図書館として、利用者や地域ニーズに応えられる蔵書構成を図る。</p>	<p>○図書資料購入費 2,827,783円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書購入費 2,200,000円 ・雑誌等購入費（雑誌45誌、新聞5紙） 627,783円 <p>来館者数 延べ 21,048人 貸出利用者数 延べ 4,027人 貸出冊数（図書・雑誌） 延べ 17,982冊（団体貸出数含む）</p> <p>継続して行ってきたこども園・保育園への団体貸出に加えて、学校や施設等へ対象を広げたことで、前年度と比べ貸出数が増加となった。</p>
				<p>○図書館サービス拡充事業費 地域の情報拠点として、より充実した図書館サービスを提供する。</p>	<p>○図書館サービス拡充事業費 14,573,351円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員賃金等(6人) 14,347,913円 ・講師謝礼（講座・イベント等） 95,000円 ・イベント消耗品等 130,438円 <p>手芸教室や工作教室、図書館を会場にしたコンサートを開催し、図書館の場としての魅力を市民に発信した。会計年度任用職員の増員により、利用者対応や書庫内での作業がスムーズに行われ利用環境の向上につながった。</p>
				<p>○文化財管理費 伝統的建造物群保存地区内の消防施設及び防災施設の保守点検をはじめ、武家屋敷周辺の歴史的町並み保存及びその他文化財の管理全般を適切に行う。</p>	<p>○文化財管理費 4,838,398円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、県、市の指定文化財等文化財全般に係る保存管理 ・特別天然記念物カモシカ保護及び処理 4頭 ・消防施設及び防災施設の保守点検 計6回（各3回ずつ） <p>国、県、市の指定文化財及び特別天然記念物の適切な保存、保護及び伝統的建造物群保存地区内の防災対策に寄与した。</p>
				<p>○武家屋敷公開管理事業費 伝統的建造物群保存地区内外の市管理史跡の公開及び管理を行う。 （岩橋家、小田野家、旧松本家）</p>	<p>○武家屋敷公開管理事業費 9,033,983円</p> <p>コロナ感染対策に力を入れ公開方法を工夫しながら武家屋敷の保存管理を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開期間：4月11日～11月30日 ・来場者数：32,748人（前年比△73,680人） <p>秋以降は見学者も増え、来訪者への案内、県内の小中高校生のフィールドワークへの対応などにより、古いものを遺し次世代に継承していく意義の重要性を感じていただいた。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○旧石黒（恵）家公開事業費 伝統的建造物の公開と利活用を図る。</p>	<p>○旧石黒（恵）家公開事業費 5,111,940円 ・公開期間：4月1日～3月31日（3/1～3/13休館） ・入館者数：2,850人（前年比+2,833人） ・利用実績：410人（前年比△142人） 昭和初期の伝統的建造物を公開活用することにより、江戸から昭和までの時代の変遷や、角館の建築の歴史を学ぶ実践の場として好評を得た。</p>
				<p>○河原田家公開管理事業費 4ヶ年の修理工事を経て武家屋敷河原田家の有料公開を行う。主屋では対面による案内を実施し、土蔵には河原田家に縁のある品々を展示し、伝統的建造物の公開活用を図る。</p>	<p>○河原田家公開管理事業費 15,550,943円 コロナ感染対策に力を入れ公開方法を工夫しながら河原田家の保存管理を実施した。 ・公開期間：4月10日～3月31日（3/1～3/13休館） ・来館者数：8,139人 対面による案内が好評で、訪れた観光客に武家屋敷についての理解を深めていただいた。伝統的建造物群保存地区内の新たな観光スポットとして、観光産業活性化の一助となった。</p>
				<p>○桜保護管理費 文化財指定の桜の日常管理を実施し、訪れる観光客に良好な花を見ていただく。</p>	<p>○桜保護管理費 4,410,328円 ・角館中学校2年生と大曲支援学校せんぼく校による桜の施肥活動 文化財保護法による国名勝指定、国天然記念物指定の桜に対し、日常的に管理を行った。枯枝の除去、ソメイヨシノのテングス病枝の除去、その他の整枝、施肥、病害虫駆除等を実施。野鳥のウソによる花芽の食害は少なく、桧木内川堤のソメイヨシノは例年より早く4月14日に開花。桜まつりは縮小開催となったが、本市観光産業の活性化に寄与した。</p>
				<p>○重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業費 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている仙北市角館の江戸期の町並みの維持保存を図る。</p>	<p>○重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業費 17,471,986円 ・伝建群管理事務所修景工事 7,452,500円 ・伝建群管理事務所修景工事監理業務委託 418,000円 ・青柳家柴垣修景 2,802,800円 ・西宮家修理事業費補助金 6,172,240円 上記をはじめ地区内の伝統的建造物等の修理修景事業を実施し、地区住民の負担軽減を図るとともに、仙北市・東北・日本の歴史的町並み保存、文化の向上・発展に寄与した。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○火除け地復元調査事業費 旧角館庁舎解体後の発掘調査を実施し遺構の痕跡確認を行う。</p>	<p>○火除け地復元調査事業費 2,742,522円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火除け地発掘調査に係る試掘工事 330,000円 ・火除け地発掘調査に係る地形測量業務委託 2,002,000円 <p>任意の位置に試掘坑を設定し重機を用いて掘削した。掘削後平面と断面を観察し土層註記、作図及び写真をもって記録を残した。また、現況に試掘坑と旧東勝楽丁庁舎等の位置を重ね合わせた平面図を作成した。調査結果については、火除けの復元に向けた今後の検討の際の資料として活用する。</p>
				<p>○学習資料整備費 利用者のニーズに応じた図書資料・視聴覚資料を購入装備のうえ貸出を行う。貴重な資料の収集保存に努めながら、最新の情報、郷土資料なども充実させ、適切な蔵書構成を目指す。</p>	<p>○学習資料整備費 4,823,588円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料等購入費 1,820冊 2,999,575円 内訳（一般図書1,134冊、児童図書686冊） ・利用実績 来館利用者数 28,157人 貸出利用者数 9,153人 貸出冊数 37,550冊 <p>学習資料の整備により、読書の促進に資することができた。</p>
				<p>○学校図書館支援事業費 学校図書館支援員が市内小・中学校11校を定期的に訪問し、学校図書館の環境整備を行う。選書、発注、蔵書管理、データ管理等業務全般に対し支援する。</p>	<p>○学校図書館支援事業費 8,540,500円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員賃金等（2人分） 5,341,197円 ・支援員学校訪問頻度 市内全小・中学校に月2回程度訪問 ・学校図書館システム等保守委託料 696,960円 ・学校用図書館管理データ作成業務（T00Li-S）使用料 363,000円 <p>学校図書館支援員の訪問支援等により、学校図書館の環境整備と利用促進を図り、児童・生徒の図書室利用につながっている。</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																													
				計画	実績及び効果																												
				<p>○子ども読書活動推進事業費</p> <p>子どもの読書普及と支援のため、市内全小・中学校に対し、規模に応じて図書購入費を配分することにより、学校図書館の蔵書の充実を図るとともに児童・生徒の読書環境の向上に寄与する。</p>	<p>○子ども読書活動推進事業費 2,632,613円</p> <p>・市内小・中学校図書購入費 2,632,613円</p> <table border="0"> <tr> <td>角館小</td> <td>186冊</td> <td>角館中</td> <td>238冊</td> </tr> <tr> <td>白岩小</td> <td>61冊</td> <td>生保内中</td> <td>225冊</td> </tr> <tr> <td>生保内小</td> <td>122冊</td> <td>神代中</td> <td>149冊</td> </tr> <tr> <td>神代小</td> <td>126冊</td> <td>西明寺中</td> <td>136冊</td> </tr> <tr> <td>西明寺小</td> <td>100冊</td> <td>桧木内中</td> <td>75冊</td> </tr> <tr> <td>桧木内小</td> <td>56冊</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>計</td> <td>1,474冊</td> </tr> </table> <p>学校図書の購入・配備により、小・中学校の読書環境の向上に寄与した。</p>	角館小	186冊	角館中	238冊	白岩小	61冊	生保内中	225冊	生保内小	122冊	神代中	149冊	神代小	126冊	西明寺中	136冊	西明寺小	100冊	桧木内中	75冊	桧木内小	56冊					計	1,474冊
角館小	186冊	角館中	238冊																														
白岩小	61冊	生保内中	225冊																														
生保内小	122冊	神代中	149冊																														
神代小	126冊	西明寺中	136冊																														
西明寺小	100冊	桧木内中	75冊																														
桧木内小	56冊																																
		計	1,474冊																														
				<p>○常設・企画展示費</p> <p>常設展は平福徳庵・百穂父子展を企画展の展示替え毎に展示作品を替えての実施。企画展は3回の実施。備品購入は百穂作品を2点購入。</p>	<p>○常設・企画展示費 4,314,764円</p> <p>①春のコレクション展 4月18日から5月30日 998人</p> <p>②寺澤孝太郎展 6月6日から7月19日 709人</p> <p>③徳庵と百穂ーコレクション作品を中心にー 7月27日から11月14日 1,835人</p> <p>※臨時休館（1月26日から館内設備改修施工）</p> <p>平福百穂筆「霊峰・青波」2,640,000円で購入 平福百穂筆「鶴（松竹梅）」297,000円で購入 2点 合計 2,937,000円</p> <p>これまで購入や寄贈等で収集した作品を活用し、初披露の作品を中心とした新鮮で見ごたえのある常設展及び企画展を開催することが出来た。しかしながら、コロナ禍における行動制限等もあり、観覧者数は例年の半分以下に落ち込んだ。</p>																												
				<p>○児童生徒県南美術展開催費</p> <p>県南4市（仙北市・大仙市・横手市・湯沢市）2郡（仙北郡・雄勝郡）の小中学生の応募展の実施。</p>	<p>○児童生徒県南美術展開催費 366,823円</p> <p>第44回児童生徒県南美術展・開催期間11月28日から1月25日まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出品数 953点（小学校 710点 中学校 243点） ・参加校数 75校（小学校 54校 中学校 21校） ・観覧者数 2,810人 <p>学校統合などにより、参加校数及び出品数が減少した。観覧者数は前年度と比較すると約200人減少した。</p>																												

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要																																	
				計画	実績及び効果																																
				<p>○管理運営費（市民会館） 地域文化と芸術・芸能の発展に寄与するため、活動の場を整備し利用を促進する。</p>	<p>○管理運営費（市民会館） 17,081,166円</p> <p>・市民会館利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用目的</th> <th>回数</th> <th>日数</th> <th>利用者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術芸能関係</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>大会・式典</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>960</td> </tr> <tr> <td>講演・研究会</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>練習（ホール）</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>490</td> </tr> <tr> <td>練習（練習室）</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>265</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>4,335</td> </tr> </tbody> </table> <p>機械設備の保守点検や修繕等を実施し、利用者が施設を快適に使用できる環境を整備した。</p>	使用目的	回数	日数	利用者数（人）	芸術芸能関係	11	11	290	大会・式典	11	11	960	講演・研究会	3	3	30	練習（ホール）	22	22	490	練習（練習室）	50	50	265	その他	12	12	2,300	合計	109	109	4,335
使用目的	回数	日数	利用者数（人）																																		
芸術芸能関係	11	11	290																																		
大会・式典	11	11	960																																		
講演・研究会	3	3	30																																		
練習（ホール）	22	22	490																																		
練習（練習室）	50	50	265																																		
その他	12	12	2,300																																		
合計	109	109	4,335																																		
				<p>○自主事業運営費（市民会館） 市民が優れた芸術・文化に触れる機会を設け、芸術的感性の醸成を図る。</p>	<p>○自主事業運営費（市民会館） 1,545,672円</p> <p>・つなぐ・生保内節 令和3年11月28日（日）午後2時開演 出演：歴代生保内節全国大会優勝者 入場者数：150人 YoutubeLive：視聴者数約2,000人 ※YoutubeLiveの人数は令和3年中の再生回数からの概数</p> <p>昨年度に続きコロナ禍の影響により、事業縮小を余儀なくされたが、各種ガイドラインに沿って感染防止策を講じながら公演を行い、新たな生活様式の中で芸術・文化に触れる機会を創出した。</p>																																
				<p>○市民会館施設整備事業費 市民会館の各種設備の中でも、大規模な工事および修繕を必要とする施設の更新もしくは新設を行う。</p>	<p>○市民会館施設整備事業費 6,820,000円</p> <p>・市民会館受電設備高圧機器更新工事 6,820,000円</p> <p>特に人命に関わるなど、緊急性、必要性が高い物から更新を行った。</p>																																

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				<p>○子ども演劇体験支援事業費 演劇体験講座を開催し、演劇を通して子どもたちの表現力、コミュニケーション力の向上と交流を図る。県の関係人口会議・秋田型教育事業と連携し、県外からの参加者と交流を図る。</p>	<p>○子ども演劇体験支援事業費 423,359円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども演劇体験 328,559円 8月6日(金)～9日(月) 4日間 参加者：6人(小学生1人、中学生5人) 講師各日2人 ・仙北市親子留学事業 94,800円 1月7日(金)～9日(日) 2泊3日 参加者：1家族(千葉県松戸市) 中学生1人、小学生1人、保護者1人 <p>演劇やダンスを通じて表現の仕方や伝え方などを学ぶとともに交流が図られた。</p>
				<p>○田沢郷土資料等展示事業費 郷土に残る民具や資料を整理・展示し、郷土文化や歴史等に触れる機会を創出するとともに、郷土文化を後世に伝え、郷土を愛する情操の醸成を図る。</p>	<p>○田沢郷土資料等展示事業費 4,810,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田沢郷土資料等展示業務委託 4,785,000円 ・展示説明パネル作成 25,000円 <p>田沢交流センターの一部を展示室として改修し、地域に残る民具や資料等とともに地域に伝わる伝承や文化も交えて紹介できる展示室とした。10月13日にオープニングセレモニーを開催した。</p>
				<p>○芸術文化協会補助金 市民の芸術文化振興の牽引役を担う、仙北市芸術文化協会の事業経費に対する補助金</p>	<p>○芸術文化協会補助金 450,000円</p> <p>加盟団体数 44団体 第16回芸術文化振興大会 第16回芸術文化章受章式 コロナ対策に配慮しながら、芸術文化活動の推進が図られた。</p>
				<p>○地域芸術拠点フォーラム実行委員会補助金 新たなコミュニティ施設としても期待される地域芸術拠点の先進事例を学ぶシンポジウム開催に対する補助金</p>	<p>○地域芸術拠点フォーラム実行委員会補助金 3,000,000円</p> <p>フォーラム「地域芸術拠点のこれから」 開催期日：令和3年11月13日(土) 会場：あきた芸術村わらび劇場 事例発表：DRUM TAO(大分県竹田市) 小さな国際都市(兵庫県豊岡市) あきた芸術村(秋田県仙北市) 参加人数：約120人</p> <p>地域で芸術文化拠点を経営・運営している事例から学び、それぞれの課題の共有や情報交換により、今後の方向性を探るうえで意義のあるシンポジウムとなった。</p>

10 款 教 育 費 6 項 保 健 体 育 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事 業 の 概 要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
370,369,000	362,654,514	1,400,000	6,314,486	○高齢者と小学生のスポーツ交流事業費 市内小学校の児童と地域の高齢者がスポーツを通じて世代を超えた交流を図ることによって、育まれる生きがいや健康づくりを推進する。	○高齢者と小学生のスポーツ交流事業費 74,000円 ・開催日：令和3年6月24日・25日、7月8日・15日 6/24 神代小学校（児童23人、老人クラブ9人） 指導者3人 6/25 角館小学校（児童30人、老人クラブ3人） 指導者3人 7/8 桧木内小学校（児童26人、老人クラブ5人） 指導者3人 7/15 生保内小学校（児童36人、老人クラブ11人） 指導者4人 スポーツ交流を通じて、高齢者の健康・生きがいづくりと児童の高齢者を敬う心が育まれる機会となったほか、地域と学校との連携が図られた。 会場：市内4小学校（2校はコロナ感染拡大により中止）
				○ジュニアキャンプ開催事業費 モーグル競技のジュニア世代の育成を図るため、県内小中学生を対象としたキャンプを開催する。	○ジュニアキャンプ開催事業費 334,000円 ・開催日：令和4年1月22日・23日 ・会場：たざわ湖スキー場 ・参加者：11人（市内2人、市外9人） 秋田県スキー連盟へ業務委託し、モーグルジュニアキャンプを開催した。新型コロナウイルスの影響等により、前年度より参加者は減少となったが、モーグルに対する関心を高め、技術の習得を図ることができた。
				○子どもスノースポーツ交流事業費 子どもの頃からスノースポーツに積極的に取り組むことができる環境を提供することで、生涯スポーツへの愛着心を育み、心身の健康増進を図る。	○子どもスノースポーツ交流事業費 434,115円 ・開催日：令和4年1月8日・12日 ・参加者：8日 29人、12日 18人 市内の小中学生を対象に、スキーやスノーボード等のスノースポーツの送迎付き無料講習会を開催することで、普段接することが少ない他校や他学年の児童・生徒との交流が図られた。
				○東京2020大会聖火リレー開催事業負担金 東京オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火採火式の開催にあたり、秋田県実行委員会で行う運営費に対する負担金。	○東京2020大会聖火リレー開催事業負担金 916,440円 ・聖火リレー開催日：令和3年6月8日 ・会場：桜並木駐車場を発着点とする武家屋敷周辺 ・聖火ランナー：13人 ・サポートランナー：22人（市内小中学生） ・聖火採火式開催日：令和3年8月15日

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
					<p>聖火リレーでは、国内外から注目を集める聖火が町内を走り抜け、武家屋敷の町並みの魅力を発信し、しっかり聖火をつなぐ役割を果たすことができた。聖火採火式では、雲巖寺で白岩ささら奉納舞の焚き火から採火することで、パラリンピックを盛り上げるとともに、パラスポーツを通じた心のバリアフリーの推進に寄与した。</p>
				<p>○全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会補助金 全日本スキー連盟が主催する全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会の運営費に対する補助金。</p>	<p>○全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会補助金 1,400,000円 ・開催日：令和3年4月1日～4日 ・会場：たざこ湖スキー場（アルペン） 田沢湖クロスカントリーコース（クロスカントリー） ・参加者（延人数）：アルペン 772人、クロスカントリー 67人 新型コロナウイルス感染症対策として、大会コースの貸し切りや出場選手・役員等は2週間前からの健康観察を義務づけるなど、細心の注意を払って競技運営を行った。最終日は残念ながら雨の影響で競技は中止となったが、期間中は多くの関係者が宿泊されたこともあり、地域経済への波及効果が見られた。</p>
				<p>○市民体育館管理運営費 市民体育館の維持管理について、緊急性が高く、老朽化の激しい生保内市民体育館の改修工事等を行う。</p>	<p>○市民体育館管理運営費 62,278,739円 ・報償費 1,440,000円 ・需用費 4,243,860円 ・役務費 394,370円 ・委託料 4,057,737円 ・使用料及び賃借料 163,372円 ・生保内市民体育館改修工事 51,154,400円 ・神代市民体育館カーテン設置工事 825,000円 生保内市民体育館の屋根が老朽化で雨漏りが発生したことにより、屋根や外壁等の改修工事を行ったほか、神代市民体育館に遮光カーテンを設置したことで、スポーツ活動に支障なく施設を安心・安全に利用できるよう適切な維持管理に努めた。</p>
				<p>○給食材料費 ・季節の行事給食 児童生徒が季節行事に関心を持ち四季の移ろいを体感してもらうため、5月こどもの日、7月七夕、12月クリスマス、2月節分、3月ひな祭りの季節行事食を全児童生徒を対象に通常の給食費に1回一人当たり108円を加えて実施する。</p>	<p>○給食材料費 70,008,933円 ・季節の行事給食 986,148円 ・5月 6日 こどもの日メニュー 1,840人 ・7月 6日 七夕メニュー 1,835人 ・12月24日 クリスマスメニュー 1,828人 ・2月 3日 節分メニュー 1,802人 ・3月 3日 ひな祭りメニュー 1,826人 合計 9,131人</p>

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
				・スペシャル給食 (卒業児童生徒対象) 小学6年生、中学3年生を対象に、思い出に残る特別な給食を実施。通常の給食費に一人当たり378円を加えて実施する。	・スペシャル給食 176,148円 ・1月25日 角館小学校 87人 ・2月24日 白岩小学校 10人 ・2月1日 生保内小学校 41人 ・1月18日 神代小学校 32人 ・12月23日 西明寺小学校 29人 ・12月14日 桧木内小学校 14人 計 213人 ・3月4日 角館中学校 130人 ・12月15日 生保内中学校 55人 ・12月7日 神代中学校 34人 ・2月16日 西明寺中学校 21人 ・2月4日 桧木内中学校 13人 計 253人 合計 466人 児童生徒が季節の食材や地場産物を取り入れた給食を通して、郷土の自然や文化に関心を持ってもらい、思い出に残る学校給食を楽しむことができた。

(2) 国民健康保険特別会計(事業勘定)

5款 保健事業費 2項 保健事業費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
7,398,000	6,764,761	0	633,239	○人間ドック助成費等 国民健康保険被保険者の人間ドックに係る費用の一部(上限21,000円)を助成する。	○人間ドック助成費等 3,734,800円 ・人間ドック受診者数 178人 ・助成費 @21,000円×176人 3,696,000円 @19,400円×2人 38,800円 令和2年度の実績が173人であったのに対し、令和3年度は178人の実績であった。

(3) 国民健康保険特別会計 (神代診療施設勘定)

2 款 医 業 費 1 項 医 業 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
6,747,000	5,333,265	0	1,413,735	○医業費 公衆衛生の向上及び増進に努める。	○医業費 5,333,265円 ・診療日数 191日 患者数 4,751人 1日平均 24.87人 後期高齢者の患者が老人施設に入所したことや他病院への転院等で患者数が減少したが、経費の削減を図りつつ、地域における医療の確保、健康の保持・増進に寄与した。

(4) 介護保険特別会計

1 款 総 務 費 1 項 施 設 管 理 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
368,635,000	359,363,082	0	9,271,918	○一般管理費 利用者が安全に快適にサービスを受けられるよう施設や機器の維持管理を行う。	○一般管理費 119,265,470円 ・ 屋根防水改修工事・設計等委託料 35,700,500円 ・ ベッドキャスター交換修繕料 418,827円 ・ 施設機器・備品修繕料 926,826円 ・ システム・機器保守点検等業務委託料 6,662,821円 ・ 介護システム等賃借料 1,333,776円 施設・設備等の修繕や更新により、利用者が安全・快適に過ごすことができ、介護従事者の負担軽減にもつながった。

2 款 サービス事業費 2 項 施設サービス事業費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
71,454,000	69,179,472	0	2,274,528	○利用者サービス事業費 入所利用者個々のサービス計画に基づき、介護や健康管理、リハビリ等に努め、在宅復帰等地域のニーズにあったサービスを行う。	○利用者サービス事業費 69,179,472円 ・紙おむつ等介護用品費 7,759,782円 ・医薬品代 6,648,238円 ・給食・給食管理業務委託料 49,223,004円 ・寝具賃借料 2,318,100円 ・入所利用者数 31,137人/年 1日平均 85.31人 内短期入所者数 292人/年 1日平均 1.16人 入所利用者の心身機能の維持・回復、家庭介護の負担軽減に寄与することができた。

(5) 生保内財産区特別会計

3 款 財産費 2 項 造林費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計画	実績及び効果
8,184,000	8,136,885	0	47,115	○森林整備センター造林保育費 森林の持つ公益的機能の重要性が叫ばれる中、適切な保育管理を行い、水源林の造成に努める。	○森林整備センター造林保育費 7,838,015円 ・山居2造林地保育間伐 18.67 ha 4,480,300円 ・山居3造林地保育間伐 11.63 ha 2,975,500円 ・山居2、3造林地標準地調査 278,850円 森林整備センターの管理計画により、適切な保育管理を実施した。

4 款 諸 支 出 金 1 項 分 収 林 交 付 金

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
4,413,000	4,412,427	0	573	○分収林交付金	○分収林交付金 4,412,427円 ・生保内北部分収林組合 4,412,427円 (5,515,533円×分収割合8/10) 分収林契約に基づき販売額の8/10を契約の相手方に交付した。

4 款 諸 支 出 金 3 項 繰 出 金

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
18,553,000	18,516,000	0	37,000	○一般会計繰出金	○一般会計繰出金 18,516,000円 ・農林業振興資金運営費分 13,000円 ・農林業振興資金利子補給金 343,000円 ・生保内地域水利確保用電気料 63,000円 ・敬老会傘寿記念写真撮影費分 689,000円 ・土地情報システム使用保守料分 607,000円 ・上滝沢会館改修費分 835,000円 ・浮世坂会館改修費分 522,000円 ・中生保内会館エアコン設置費分 334,000円 ・武蔵野会館エアコン設置費分 110,000円 ・生保内市民体育館改修費分 15,000,000円 各種事業に繰出することにより、財産区地域住民の福祉の向上に寄与した。

(6) 田沢財産区特別会計

3 款 財 産 費 2 項 造 林 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実績及び効果
19,180,000	18,985,253	0	194,747	○直営造林保育費 適切な保育管理を行い、良質材の生産に努める。	○直営造林保育費 3,022,000円 ・寺山直営造林地除伐 9.84 ha 272,000円 ・春山地区天然林改良 3.00 ha 2,750,000円 仙北東森林組合との森林経営委託契約に基づき、利用間伐が可能な造林地の搬出間伐を実施した。 また、地域住民の要望に応じて、天然林改良として薪材及びホダ木の生産を実施し、地域住民の福祉の向上に寄与した。
				○森林整備センター造林保育費 森林の持つ公益的機能の重要性が叫ばれる中、適切な保育管理を行い、水源林の造成に努める。	○森林整備センター造林保育費 15,151,893円 ・大深1造林地下刈(1) 22.22 ha 3,741,100円 ・大深1造林地作業道新設 924.0 m 2,847,900円 ・大深1造林地保育(搬出)間伐 6.32 ha 3,668,500円 ・先達造林地保育間伐 16.56 ha 3,635,500円 ・大深1造林地間伐木運搬 1,122,666円 森林整備センターの管理計画により、適切な保育管理を実施した。

4 款 諸 支 出 金 3 項 繰 出 金

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実績及び効果
11,313,000	11,298,000	0	15,000	○一般会計繰出金	○一般会計繰出金 11,298,000円 ・農林業振興資金運営費分 12,000円 ・農林業振興資金利子補給金 94,000円 ・田沢交流センター体育館屋根塗装 4,015,000円 ・田沢交流センター体育館水銀灯取替 2,392,000円 ・田沢地区文化等展示ディスプレイ委託 4,785,000円 各種事業に繰出しすることにより、財産区地域住民の福祉の向上に寄与することができた。

(7) 雲 沢 財 産 区 特 別 会 計

3 款 財 産 費 1 項 財 産 管 理 費

予算額 円	支出済額 円	翌年度繰越額 円	不用額 円	事業の概要	
				計 画	実 績 及 び 効 果
4,810,000	4,542,240	0	267,760	○造林保育事業費 森林資源の質的充実に向けた森林環境整備の促進を図る。	○造林保育事業費 4,542,240円 ・西長野釜ノ川山地内搬出間伐業務委託 2,683,000 円 角館町西長野釜ノ川山地内 4.88ha ・西長野釜ノ川山地内搬出間伐業務委託 1,090,000 円 角館町西長野釜ノ川山地内 2.00ha ・西長野釜ノ川山地内森林作業道開設業務委託 561,000 円 角館町西長野釜ノ川山地内 300.00m 搬出間伐事業を実施し、森林資源の質的充実に向けた森林環境整備を促進した。